頁	現行計画(令和4年2月修正)	改正後(令和 <u>5</u> 年2月修正)	改正理由
1	第1編 総則	第1編 総則	
1	第1章 計画の目的	第1章 計画の目的	
1 2	第2節 計画の性格 3 南海トラフ地震防災対策推進計画 (略) 「南海トラフ地震防災対策推進地域) 南海トラフ地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法第3条 第1項に基づき、推進地域として指定された地域は、県内の全市町村(平成26年3月28日現在)である。 (追加)	第2節 計画の性格 3 南海トラフ地震防災対策推進計画 (略) 「南海トラフ地震防災対策推進地域〕 南海トラフ地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法第3条 第1項に基づき、推進地域として指定された地域は、県内の全市町村(平成26年3月28日現在)である。 「南海トラフ地震防災対策特別強化地域」 南海トラフ地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法第10条第1項に基づき、推進地域のうち特別強化地域として指定された地域は、次の3市町(平成26年3月28日現在)である。 豊橋市、田原市、南知多町	1. 県の地域防災計画の修正の反映 (表記の整理)
5 12	第3節 社会的条件 (略) (5) 地域社会の変容に伴い、コミュニティ意識が低下している。災害を最小限に食い止めるためには、行政による公助に加え、市民一人ひとりの自覚に根ざした自助や身近な地域コミュニティ等による共助が機能することが大切であり、社会の様々な主体が協働して災害被害の軽減に向けた防災活動を行う防災協働社会を形成していくことが重要である。 第4章 基本理念及び重点を置くべき事項	第3節 社会的条件 (略) (5) 地域社会の変容に伴い、コミュニティ―意識が低下している。災害を最小限に食い止めるためには、行政による公助に加え、市民一人ひとりの自覚に根ざした自助や身近な地域コミュニティ―等による共助が機能することが大切であり、社会の様々な主体が協働して災害被害の軽減に向けた防災活動を行う防災協働社会を形成していくことが重要である。 第4章 基本理念及び重点を置くべき事項	2. 碧南市各部 局における活動 の反映等 (表記の整理)
12	第4年 基本理念及び重点を直く、 き事項 第1節 防災の基本理念 (略) 市を始めとする各防災関係機関は、「第3章 被害想定」及び過去の災害から	第4年 基本年志及い重点を直くべき事項 第1節 防災の基本理念 (略) 市を始めとする各防災関係機関は、「第3章 被害想定 <u>及び減災効果</u> 」及び過	2. 碧南市各部 局における活動 の反映等

頁	現行計画(令和4年2月修正)	改正後(令和 <u>5</u> 年2月修正)	改正理由
	得られた教訓を踏まえ、(略)	去の災害から得られた教訓を踏まえ、(略)	(表記の整理)
12 13	第2節 重点を置くべき事項 防災基本計画及び「第3章 被害想定」を踏まえ、地域の防災対策におい て、特に重点を置くべき事項は次のとおりとする。	第2節 重点を置くべき事項 防災基本計画及び「第3章 被害想定及び減災効果」を踏まえ、地域の防 災対策において、特に重点を置くべき事項は次のとおりとする。	2. 碧南市各部 局における活動 の反映等 (表記の整理)
15	第5章 各機関の処理すべき事務又は業務の大綱	第5章 各機関の処理すべき事務又は業務の大綱	
15	第2節 処理すべき事務又は業務の大綱 (略)	第2節 処理すべき事務又は業務の大綱 (略)	1. 県の地域防 災計画の修正の
17	3 指定地方行政機関	3 指定地方行政機関	反映
1,1	機関名 内容	機関名 内 容	
	(略) 東海財務局 (6) 上記 (1) ~ (6) の措置等を適切に行うため、必要に応じ情報連絡員 (リエゾン)を派遣する。	(略) 東海財務局 (6) 上記 (1) ~ (5) の措置等を適切に行うため、必要に応じ情報連絡員 (リエゾン)を派遣する。	- (表記の整理)
	(略) 東海農政局 (5) 農地、農業用施設等の災害時における応急措置について指導を行うとともに、これらの災害復旧事業の実施及び指導を行う。	(略) 東海農政局 (5) 農地、農業用施設等の災害時における応急措置について指導を行う とともに、これらの災害復旧事業の実施 <u>に関する指導</u> 及び <u>助言</u> を行う。	
18	中部経済産業 (4) (略) 局 (追加) (略) (略)	中部経済産業 (4) (略) 局 (5) 必要に応じて災害対策本部等への職員の派遣を行う。 (略) (略)	(業務見直しに 伴う修正)
	第四管区海上 保安本部 (略) (4) 海上の安全の確保を図るため、船舶に対し避難勧告、移動命令及び危険物積載船舶・臨海施設に必要な保安措置を指示する。	第四管区海上 保安本部 (略) (4) 海上の安全の確保を図るため、船舶に対し避難勧告 <u>(港則法)</u> 、移動命 令及び危険物積載船舶・臨海施設に必要な保安措置を指示する。	(表記の整理)
19	中部地方整備 (窓) 初動対応 月 (追加) ア 情報連絡員 (リエゾン)等及び (略) イ 緊急車両の通行を確保するため (略)	中部地方整備 (2) 初動対応 ア 所掌事務に係る災害情報の収集及び伝達を行う。 イ 情報連絡員 (リエゾン)等及び(略) ウ 緊急車両の通行を確保するため(略)	
20	5 衣浦東部広域連合消防局 機関名 内 容	5 衣浦東部広域連合消防局 機関名 内 容	2. 碧南市各部 局における活動
	碧南消防署(以 (略) 下、消防署) (9) 消防団活動の指揮命令を行う。	碧南消防署 (以 (略) 下、消防署) (9) 消防団を所轄の下行動させる。	の反映等 (表記の整理)

頁	現行計画(令和4年2月修正)	改正後(令和 <mark>5</mark> 年 2 月修正)	改正理由
20	6 指定公共機関 機関名 内 容	6 指定公共機関 機関名 内 容	1. 県の地域防 災計画の修正の
21	(略) (略) (略) 中部電力株式 会社(※1)、株 式会社 J E R A、関西電力株 式会社(※2)、 電源開発株式	(略) (略) 中部電力 <u>パワ</u> (略) <u>一グリッド株</u> (※) <u>刈谷営業所</u> を含む。(以降同じ。) ***	反映 (指定公共機関 の追加に伴う 修正)
22	会社(※3) 東邦瓦斯株式 (略) 会社 (2) 発災後は被災施設の復旧を実施し、供給停止等の需要家に対して、早期供給再開を図る。 (追加) ソフトバンク (略) 株式会社 (略)	東邦瓦斯株式 (略) 会社 (※) (2) 発災後は被災施設の復旧を実施し、供給停止等の需要家に対して、早期供給再開を図る。 (※) 東邦ガスネットワーク株式会社を含む。(以降同じ。) ソフトバンク株式会社 (略) 株式会社	
	(底) (底)	(1) 災害時における携帯電話の通信確保並びに被災施設及び設備の早期復 旧を図る。 (2) 災害応急措置の実施に必要な通信に対して、防災関係機関からの要請 を優先的に対応する。 (3) 災害対策本部を設置し災害時における情報等の正確かつ迅速な収集、 伝達を行う。 (略)	
	日本建設業連合会	一般社団法人 日本建設業連 合会	
24	8 公共的団体及びその他防災上重要な施設の管理者 機関名 内 容 一般社団法人 碧南市医師会 (1) 医療及び助産活動に協力する。 (2) 防疫その他保健衛生活動に協力する。 (<u>追加</u>) (略) (略)	8 公共的団体及びその他防災上重要な施設の管理者 機関名 内 容	2. 碧南市各部 局における活動 の反映等 (表記の整理)
25	第2編 災害予防	第2編 災害予防	
25	第1章 防災協働社会の形成推進	第1章 防災協働社会の形成推進	

頁	現行計画(令和4年2月修正)	改正後(令和 <u>5</u> 年2月修正)	改正理由
25	基本方針 ○ 自然災害からの安全・安心を得るためには、行政による公助はもとより、 市民一人ひとりの自覚に根ざした自助、身近な地域コミュニティ等による 共助が大切であり、(略)	基本方針 ○ 自然災害からの安全・安心を得るためには、行政による公助はもとより、市民一人ひとりの自覚に根ざした自助、身近な地域コミュニティ <u>一</u> 等による共助が大切であり、(略)	2. 碧南市各部 局における活動 の反映等 (表記の整理)
25	主な機関の措置	主な機関の措置	2. 碧南市各部
	図 分 機関名	図 分 機関名 主 な 措 置 1 (1) 地域における防災活動の継続的な推進の枠組み作 1 (2) 災害被害の軽減に向けた取組み 1 (3) 産官学民連携による取組み 2 愛知県地震防災推進条例に基づく推進 3 市民の基本的責務 4 住民及び事業者による地区内の防災活動の推進 1 (1) 自主防災組織・ がランティアと	局における活動の反映等 (表記の整理)
27	第2節 自主防災組織・ボランティアとの連携 1 市における措置 (略) (1) 自主防災組織の推進 (略) ウ 自主防災組織等の環境整備 市は、自主防災組織の育成・強化を図り、消防団とこれらの組織との連携等を通じて、地域コミュニティの防災体制の充実を図るものと	第2節 自主防災組織・ボランティアとの連携 1 市における措置 (略) (1) 自主防災組織の推進 (略) ウ 自主防災組織等の環境整備 市は、自主防災組織の育成・強化を図り、消防団とこれらの組織と の連携等を通じて、地域コミュニティーの防災体制の充実を図るもの	2. 碧南市各部 局における活動 の反映等 (表記の整理)

頁	現行計画(令和4年2月修正)	改正後(令和 <u>5</u> 年2月修正)	改正理由
27	する。(略) (2) 防災ボランティア活動の支援 ア ボランティアコーディネーターの確保	とする。(略) (2) 防災ボランティア活動の支援 ア ボランティアコーディネーターの確保	1. 県の地域防 災計画の修正の
	大地震により行政、市民、自主防災組織などに対応困難な災害が発生した場合に、ボランティアがその力を十分に発揮するため、(略)	市は、大地震により行政、市民、自主防災組織などに対応困難な 災害が発生した場合に、ボランティアがその力を十分に発揮するた め、(略)	反映(表記の整理)
	(略)	(略)	
29	4 ボランティアの受入体制の整備及び協力・連絡体制の推進(略)(1) ボランティアの受入体制の整備ア 市は、あらかじめ平常時において定期的に次の(7)から(ウ)等の災	4 ボランティアの受入体制の整備及び協力・連絡体制の推進 (略) (1) ボランティアの受入体制の整備 ア 市は、あらかじめ平常時において定期的に次の(7)から(ウ)等の災	2. 碧南市各部 局における活動 の反映等
	一川は、めらがしめ平吊時において足別のに次の「けから」(り等の次 害発生時の対応や連_絡体制について、NPO・ボランティア関係団 体等との意見交換に努める。	害発生時の対応や連絡体制について、NPO・ボランティア関係団体等との意見交換に努める。	(表記の整理)
30	第3節 企業防災の促進	第3節 企業防災の促進	2. 碧南市各部
	1 企業における措置	1 企業における措置	局における活動
	(1) 事業継続計画の策定・運用	(1) 事業継続計画の策定・運用	の反映等
	企業は、災害時の企業の果たす役割を十分に認識し、自らの自然災害リ スクを把握するとともに、リスクに応じたリスクコントロールとリスクフ	企業は、災害時の企業の果たす役割を十分に認識し、自らの自然災害リスクを把握するとともに、リスクに応じたリスクコントロールとリスクフ	(表記の整理)
	ァイナンスの組み合わせによるリスクマネジメントの実施に努めるものと	ァイナンスの組み合わせによるリスクマネジメントの実施に努めるもの	(32,42,5,12,13)
	する具体的には、各企業において、(略)	とする。具体的には、各企業において、(略)	
31	(略) 2 市及び商工会議所等における措置	(略) 2 市及び商工会議所等における措置	
	(略)	(略)	
	また、企業を地域コミュニティの一員としてとらえ、地域の防災訓練への	また、企業を地域コミュニティ―の一員としてとらえ、地域の防災訓練	
	積極的参加の呼びかけ、防災に関するアドバイスを行うものとする。	への積極的参加の呼びかけ、防災に関するアドバイスを行うものとする。	
33	第2章 建築物等の安全化	第2章 建築物等の安全化	

頁	現行計画(令和4年2月修正)	改正後(令和 <u>5</u> 年2月修正)	改正理由
33	主な機関の措置 区 分 機関名 主 な 措 置 第1節 建築物の耐震 推進 (応務課)、こども班 (こども課)、住宅建 築班(建築課)、調達 班(資産活用課)、水 道班(水道課)、下水 道班(下水道課)、土 木施設管理班(土木 港湾課、都市整備 課)、社会教育班(生 涯学習課)、第1 医 療班(健康課)、福祉 班(福祉課)、要配慮 者支援班(高齢介護 課)、農水班(農業水	主な機関の措置 区 分 機関名 主 な 措 置 第1節 建築物の耐震 推進 全庁 (略)	2. 碧南市各部局における活動の反映等(表記の整理)
	産課)始め全課 第2節 (市) 土木施設管理 (略) 交通関係施設等の整備 班(土木港湾課、都市計画課)、農水班(農業水産課) (商) 水道班(水道課)、下水道班(下水道課)、下水道班(下水道課)、下水道班(下水道課)、農水班(農業水産課) (略) 第4節 (市) 社会教育班(文化財課) (略) 文化財の保護 (本) 社会教育班(京化財課) (所)	第2節 交通関係施設 等の整備 土木港湾課、都市計 画課、農業水産課、 地域協働課 消防署、警察署 (略) 第3節 ライフライン 関係施設等の 整備 水道課、下水道課、 農業水産課 (略) 第4節 文化財の保護 文化財課、生涯学習 課 (略)	
37 39	第2節 交通関係施設等の整備 3 交通安全施設等 (3) 可搬式信号機 信号柱が倒壊した場合などに(略) (4) 交通情報収集・提供機器 (略) (5) 交通規制用資機材 (略)	 第2節 交通関係施設等の整備 3 交通安全施設等 (削除) (3) 交通情報収集・提供機器 (略) (4) 交通規制用資機材 (略) 	1. 県の地域防災計画の修正の反映 (表記の整理) (廃棄処分完了 の為)
47	第5節 地震防災上緊急に整備すべき施設等の整備	第5節 地震防災上緊急に整備すべき施設等の整備	2. 碧南市各部

頁		現行計画	(令和 <u>4</u> 年2月修正)		改正後(令和	5年2月修正)	改正理由
49		心に居住者、釣客等	にいち早く情報の提供及び避難 <u>勧告</u> 等 場所の整備を行うものする。		中心に居住者、釣客	等にいち早く情報の提供及び避難 <u>情報</u> 難場所の整備を行うものする。	局における活動 の反映等 (表記の整理)
51		第3章 都市の	防災性の向上		第3章 都市の	の防災性の向上	
51	主な機関の措置			主な機関の措置			2. 碧南市各部
	区分	担 当 課	主な措置	区分	担当課	主な措置	局における活動
		(市) 土木施設管理 班(都市計画課)	1(1) 都市計画のマスタープランの策定 1(2) 防災街区整備方針の策定	第1節 都市計画のマスター プラン等の作成	都市計画課	1(1) 都市計画のマスタープランの策定 1(2) 防災街区整備方針の策定	の反映等
	第2節 防災上重要な都市施 設の整備	(市) 土木施設管理 班(土木港湾課、都市 計画課、都市整備 果)、 肖防署	1 (1) 道路の整備 1 (2) 公園・緑地の整備	第2節 防災上重要な都市施 設の整備	土木港湾課、都市計 画課、都市整備課 消防署 警察署	1 (1) 道路の整備 1 (2) 公園・緑地の整備	(表記の整理)
	第3節 建築物の不燃化の促 <u></u>	(市) 土木施設管理 班(都市計画課)、住 主建築班(建築課)	1 (1) 防火・準防火地域の指定 1 (2) 建築物の不燃対策	第3節 建築物の不燃化の促進	都市計画課、建築課消防署	1 (1) 防火・準防火地域の指定 1 (2) 建築物の不燃対策	
	第4節 建築物の耐震化の促 進	主宅建築班(建築課)	1(1) 建築物の耐震化の促進	第4節 建築物の耐震化の促 進	建築課	1(1) 建築物の耐震化の促進	
	第5節 市街地の整備・改善 意	(市) 土木施設管理 班(土木港湾課、都市 計画課、都市整備 果)、住宅建築班(建 築課)	1 (1) 密集市街地の改善 1 (2) 地区計画	第5節 市街地の整備・改善	土木港湾課、都市計 画課、都市整備課 建築課	1 (1) 密集市街地の改善 1 (2) 地区計画	
53		改善	耐震化及び空き家の除却 <u>や跡地利用に</u> 咯)	第5節 市街地の 1 市における措 (1) 密集市街地 狭あい道路 をはじめとす	置 の改善 8の拡幅、建築物等の)耐震化及び空き家の除却 <u>などの</u> 取組み	2. 碧南市各部 局における活動 の反映等 (表記の整理)
54	第4章	章 液状化対策	・土砂災害等の予防	第4	1章 液状化対策	・土砂災害等の予防	

頁	現行計画(令和4年2月修正)	改正後(令和 <u>5</u> 年2月修正)	改正理由
54	主な機関の措置	主な機関の措置	2. 碧南市各部
	区 分 機関名 主 な 措 置 第1節 (市) 土木施設管 土地利用の適正 理班(都市計画 講)、住宅建築班(建築課)	区 分 機関名 主 な 措 置 第1節 都市計画課 1 市における措置 土地利用の適正 建築課	局における活動 の反映等 (表記の整理)
	第2節 (市) 本部班(防 (京) 大土木施設 (京) 大土木施設 (京理班(土木港湾 課) (市) 本部班(財 (京理班(土木港湾 課) (市) 本部班(財 (京理	第2節 液状化対策の推 進 第1(1)液状化危険度の周知 1(2)建築物における対策工法の普及	(衣記の登理)
	第3節 (市) 土木施設管 1 (1) 宅地危険箇所の防災パトロール 宅地造成規制誘導 理班(都市計画 課)、住宅建築班(建築課) 1 (2) 宅地危険箇所の耐震化	第3節 都市計画課、建築 1 (1) 宅地危険箇所の防災パトロール 宅地造成規制誘導 1 (2) 宅地危険箇所の耐震化	
	(市) 本部班(防 災課)、土木施設 管理班(土木港湾 課)、要配慮者支 援班(高齢介護 課)、福祉班(福祉 課)、こども班(こ ども課)、学校教育 課)、第1医療班 (健康課)	第4節 土砂災害の防止 防災課、土木港湾 課、高齢介護課、福祉課、こども 課、学校教育課、健康課 1(1) 土砂災害警戒区域等に関する警戒避難体制の整備 1(3) ハザードマップの作成及び周知 1(4) 要配慮者利用施設の利用者の避難確保のための 措置に関する計画の作成	
	第5節 (市) 住宅建築班 (建築課) 1 (1) 被災宅地危険度判定士の養成・登録 1 (2) 相互支援体制の整備 1 (2) 相互支援体制の整備	第5節 被災宅地危険度 判定の体制整備 1 (1) 被災宅地危険度判定士の養成・登録 1 (2) 相互支援体制の整備	
55	第4節 土砂災害の防止 1 市における措置 (略)	第4節 土砂災害の防止 1 市における措置 (略)	2. 碧南市各部 局における活動 の反映等
56	(2) 土砂災害警戒区域等に関する警戒避難体制の整備 (略) エ	(2) 土砂災害警戒区域等に関する警戒避難体制の整備(略)エ	(表記の整理)
57	(4) 住民の避難、救助等について ① 住民の避難 (略) 著しく危険が切迫しているとき、もしくは避難の指示が発令された場合においては、市職員、消防職員、消防団、警察官、自主防災会、連絡委員、民生委員児童委員、(略)	 (イ) 住民の避難、救助等について ① 住民の避難 (略) 著しく危険が切迫しているとき、もしくは避難の指示が発令された場合においては、市職員、消防職員、消防団、警察官、自主防災会、連絡委員、民生委員・児童委員、(略) 	1. 県の地域防 災計画の修正の 反映 (表記の整理)

頁	現行計画(令和4年2月修正)	改正後(令和 <u>5</u> 年 2 月修正)	改正理由
59	第5章 応急対策活動等のための施設、資機材、体制等の整備	第5章 応急対策活動等のための施設、資機材、体制等の整備	
59	主な機関の措置 区 分 機関名 第1節 防災施設・設 備、災害用資機 材及び体制の整 備 (本) 本部班(防 災理)、情報・調 整班(秘書情報 課)、巡視・調査 班(税務課)、第1 医療班(健康課)、 水道班(水道課)、下水道班(下水道 課)、土木施設管 理班(土木港湾 課)、学校教育班 (庶務課)、調達班 (資産活用課)、環境班(環境課)、農 水班(農業水産課) を始め全課、GIS 取り扱う全課、システム利用課、市 民病院	主な機関の措置 区 分 機関名 主 な 措 置 第1節 防災施設・設 備、災害用資機 材及び体制の整 備	2. 碧南市各部局における活動の反映等 (表記の整理)
59 61	第1節 防災施設・設備及び災害用資機材の整備 1 市及び防災関係機関における措置 (略) (6) 防災中枢機能の充実 ア 市及び防災関係機関は、保有する施設、設備について、代替エネルギーシステムや電動車等の活用を含め自家発電設備、(略) (7) 防災関係機関相互の連携市は、災害時に自らのみでは迅速かつ十分な対応が困難な場合に、(略) (6) (追加)	第1節 防災施設・設備及び災害用資機材の整備 1 市及び防災関係機関における措置 (略) (6) 防災中枢機能の充実 ア 市及び防災関係機関は、保有する施設、設備について、再生可能エネルギー等の代替エネルギーシステムや電動車等の活用を含め自家発電設備、(略) (7) 防災関係機関相互の連携 ア 市は、災害時に自らのみでは迅速かつ十分な対応が困難な場合に、(略) イ 市及び防災関係機関は、職員の安全確保を図りつつ、効率的な救助・救急活動を行うため、「顔の見える関係」を構築し信頼感を醸成するよう努め、相互の連携体制の強化を図るとともに、職員の教育訓練を行い、救助・救急機能の強化を図るものとする。	1. 県の地域防災計画の修正の反映 (防災基本計画の修正を踏まえた修正)

頁	現行計画(令和4年2月修正)	改正後(令和 <u>5</u> 年2月修正)	改正理由
63 64	(略) 4 情報の収集・連絡体制の整備等 (略) (1)情報の収集・連絡体制 市は、迅速かつ的確な災害情報の収集・連絡の重要性 <u>にかんがみ</u> 、(略) (略) (3)被災者等への情報伝達 (略) また、 <u>電気</u> 通信事業者は、(略)	ウ 市及び防災関係機関は、災害時に発生する状況を予め想定し、各機関が実施する災害対応を時系列で整理した防災行動計画(タイムライン)を作成するよう努めるものとする。また、災害対応の検証等を踏まえ、必要に応じて同計画の見直しを行うとともに、平時から訓練や研修等を実施し、同計画の効果的な運用に努めるものとする。 (略) 4 情報の収集・連絡体制の整備等 (略) (1) 情報の収集・連絡体制市は、迅速かつ的確な災害情報の収集・連絡の重要性を考慮して、(略)(略) (3) 被災者等への情報伝達(略)また、通信事業者は、(略)	2. 碧南市各部 局における活動 の反映等 (表記の整理) 1. 県の地域防 災計画の修正の 反映 (表記の整理)
68	第6章 避難行動の促進対策 基本方針 ○ 避難情報は、空振りをおそれず、住民等が適切な避難行動をとれるように、発令基準を基に避難情報を発令する。 (略) 主な機関の措置 区 分 機関名	第6章 避難行動の促進対策 基本方針 ○ 避難情報は、空振りをおそれず、住民等が適切な避難行動をとれるように、発令基準を基に発令する。 (略) 主な機関の措置 区 分 機関名 第1節 防災課、経営企画 課 1 防災行政無線等の維持管理 2 情報伝達手段の多重化・多様化の確保 3 市及びライフライン事業者における措置 4 類の整備 第2節 際急避難場所 (一時)退階場所、火災時間は大災時間は大災力量が大災力量が大災力量が大災力量が大災力量が大災力量が大災力量が大災力量が	1. 県の地域防災計画の修正の反映 (表記の整理)

頁	現行計画(令和4年2月修正)	改正後(令和 <u>5</u> 年 2 月修正)	改正理由
68	第3節 (市) 本部班(防 1 (1) マニュアルの作成 及び伝達マニュアルの作成 1 (2) 判断基準の設定等に係る助言 1 (3) 事前準備 第4節 (市) 本部班(防災課) 避難誘導等に係る計画の策定 警察署、防災上重要な施設の管理者	第3節 防災課 1 (1) マニュアルの作成 断・伝達マニュアルの作成 1 (2) 判断基準の設定等に係る助言 アルの作成 1 (3) 事前準備 第4節 防災課、資産活用 課、消防署、警察署、防災上重要な施設の管理者	2. 碧南市各部 局における活動 の反映等 (表記の整理)
	第5節 <u>(市) 本部班(</u> 防 <u>(京) 本部班(</u> 防 <u>(京) 本部班(</u> 所 <u>(京) 本部班(</u> 所 <u>(京) 本部班(</u> 所 <u>(京) 本部班(</u> 所 <u>(京) 京) 等 の広報 </u>	第5節 防災課 1(1) 緊急避難場所(一時退避場所、火災時退避場所)等 の広報 1(2) 避難のための知識の普及 1(3) 防災設備等の表記	
68	第1節 津波警報や避難情報の情報伝達体制の整備 (略) 2 情報伝達手段の多重化・多様化の確保 (略) 市は、さまざまな環境下にある住民等に対して警報等が速やかに確実に伝わるよう、関係事業者の協力を得つつ、防災行政無線、コミュニティFM 放送、携帯電話(緊急速報メール機能を含む。)、(略)	第1節 津波警報や避難情報の情報伝達体制の整備 (略) 2 情報伝達手段の多重化・多様化の確保 (略) 市は、さまざまな環境下にある住民等に対して警報等が速やかに確実に伝わるよう、関係事業者の協力を得つつ、防災行政無線、コミュニティーFM 放送、携帯電話(緊急速報メール機能を含む。)、(略)	2. 碧南市各部 局における活動 の反映等 (表記の整理)
70	第3節 避難情報の判断・伝達マニュアルの作成1 市における措置(1) マニュアルの作成(略)	第3節 避難情報の判断・伝達マニュアルの作成1 市における措置(1) マニュアルの作成(略)	1. 県の地域防 災計画の修正の 反映
71	エ 区域の設定にあたっては、次の区域を踏まえる(略) (ア)(略) (イ)(略) <u>(追加)</u>	エ 区域の設定にあたっては、次の区域を踏まえる(略) (ア)(略) (イ)(略) (ウ)津波災害警戒区域(令和元年7月30日愛知県建設局指定)にお ける浸水想定区域	(避難情報に関するガイドライン (内閣府) P94の記載に合わせるため)
75	第7章 避難所・要配慮者支援・帰宅困難者対策	第7章 避難所・要配慮者支援・帰宅困難者対策	
75	基本方針	基本方針	

頁	現行計画(令和4年2月修正)	改正後(令和 <u>5</u> 年 2 月修正)	改正理由
75	 (略) ○ 市は、避難行動要支援者を適切に避難誘導し、安否確認を行うため、地域 住民、自主防災組織、民生委員児童委員、(略) (略) (略) (略) (略) (略) (略) (略) 		
	主な機関の措置	主な機関の措置	(表記の整理)
	区 分 機関名 主な措置	区 分 機関名 主な措置	
	(市)本部班(防災課)、 情報・調整班(秘書情報 課)、広報班(経営企画 課)、学校教育班(庶務 課、学校教育課、要配慮 者支援班(高齢介護課)、 福祉班(福祉課)、第1医 療班(健康課)、下水道班 (下水道課)、環境班(環境課)、環境班(環境課)、避難所班(国保年金課)、社会教育班(生涯学習課、文化創造課)等 避難所施設	第1節 選難所の指定・整備 関連 (基本) (基本) (基本) (基本) (基本) (基本) (基本) (基本)	
	第2節 要配慮者支援対策 (高齢介護課)、福祉班 (高齢介護課)、石ども班(ことでの要配慮者対策 1 (2) 在宅の要配慮者対策 1 (3) 避難行動要支援者対策 1 (4) 外国人等に対する対策 1 (5) 社会福祉施設等で理者 1 (5) 社会福祉施設等における対策 1 (5) 社会福祉施設等における対策 1 (5) 社会福祉施設等における対策 1 (5) 社会福祉施設等における対策 1 (6) 社会福祉・企業・ 1 (6) 社会・ 1	第2節 要配慮者支援対策 高齢介護課、福祉課、こ ども課、健康課、地域協 働課、建築課 社会福祉協議会、社会福 祉施設等管理者 1(1) 社会福祉施設等における対策 1(2) 在宅の要配慮者対策 1(3) 避難行動要支援者対策 1(4) 外国人等に対する対策	
	第3節 (市) 本部班(防災課)、 1 帰宅困難者対策 帰宅困難者対策 避難所班(国保年金課) 2 支援体制の構築	第3節 防災課、 <u>商工課</u> 1 帰宅困難者対策 帰宅困難者対策 2 支援体制の構築	
75	第1節 避難所の指定・整備 1 市における措置	第1節 避難所の指定・整備 1 市における措置	1. 県の地域防 災計画の修正の
	(略)	(略)	反映
76	(2) 指定避難所の指定	(2) 指定避難所の指定	/BL W # 1 31 3
77	(略) オ 必要に応じ県と連携を取り、社会福祉施設、公共宿泊施設等の管理者との協議により、配慮を要する高齢者、障害者等が相談等の必要な生活支援が受けられるなど、安心して生活できる体制を整備した福祉避難所の選定に努める。(追加)	(略) オ 必要に応じ県と連携を取り、社会福祉施設、公共宿泊施設等の管理者との協議により、配慮を要する高齢者、障害者等が相談等の必要な生活支援が受けられるなど、安心して生活できる体制を整備した福祉避難所の選定に努める。 なお、医療的ケアを必要とする者に対しては、人工呼	(防災基本計画 の修正を踏まえ た修正)

頁	現行計画(令和4年2月修正)	改正後(令和 <u>5</u> 年2月修正)	改正理由
77 78	(略) (3) 避難所が備えるべき設備の整備 (略) ウ バックアップ設備の整備:投光器、 <u>自家発電設備</u> 等	 吸器や吸引器等の医療機器の電源の確保等の必要な配慮をするよう努めるものとする。 (略) (3) 避難所が備えるべき設備の整備 (略) ウ バックアップ設備の整備:投光器、再生可能エネルギーの活用を含めた非常用発電設備等 	
78 80	 第2節 要配慮者支援対策 1 市及び社会福祉施設等管理者における措置 (略) (3) 避難行動要支援者対策 (略) エ 避難支援等関係者への事前の名簿情報の提供 (略) 避難支援等関係者は、消防署、警察署、民生委員児童委員、地域包括支援センター、社会福祉協議会、自主防災会及び町内会とする。 (略) 	 第2節 要配慮者支援対策 1 市及び社会福祉施設等管理者における措置 (略) (3) 避難行動要支援者対策 (略) エ 避難支援等関係者への事前の名簿情報の提供 (略) 避難支援等関係者は、消防署、警察署、民生委員・児童委員、地域包括支援センター、社会福祉協議会、自主防災会及び町内会とする。 (略) 	1. 県の地域防災計画の修正の反映 (表記の整理)
81	 第3節 帰宅困難者対策 1 帰宅困難者対策 (略) (2) 事業者による物資の備蓄等の促進 企業等に対して、従業員等を一定期間事業所等内に留めておくことができるよう、必要な物資の備蓄等を促すものとする。 	第3節 帰宅困難者対策 1 帰宅困難者対策 (略) (2) 事業者による物資の備蓄等の促進 企業等に対して、従業員等を一定期間事業所等内に留めておくことが できるよう、必要な物資の備蓄等 (3日分を推奨) を促すものとする。	2. 碧南市各部 局における活動 の反映等 (表記の整理)
83	第8章 火災予防・危険性物質の防災対策	第8章 火災予防・危険性物質の防災対策	
83	主な機関の措置 区 分 機関名 主 な 措 置 第1節 消防署、 1(1) 一般家庭に対する指導	主な機関の措置 区 分 機関名 主 な 措 置 第1節 消防署、 1(1) 一般家庭に対する指導	2. 碧南市各部 局における活動 の反映等

頁	現行計画(令和4年2月修正)	改正後(令和 <u>5</u> 年2月修正)	改正理由
83	火災予防対策に 関する指導 (市) 本部班(防 災課) 1 (2) 防火対象物の防火体制の推進 1 (3) 立入検査の強化 1 (4) 建築同意制度の活用 2 (1) 危険物等保安確保の指導 2 (2) 震災時の出火防止対策の推進	火災予防対策に 防災課 1 (2) 防火対象物の防火体制の推進 関する指導 1 (3) 立入検査の強化 1 (4) 建築同意制度の活用 2 (1) 危険物等保安確保の指導 2 (2) 震災時の出火防止対策の推進	(表記の整理)
	第2節 (市) 本部班(防 消防力の整備強化 消防力の整備強 災課)、 1 (1) 消防施設等の整備強化 化 消防署	第2節 防災課、 1 (1) 消防力の整備強化 消防力の整備強 消防署 1 (2) 消防施設等の整備強化 化 化	
	第3節 消防署 1 保安確保の指導 危険物施設防災計画 2 (1) 施設の保全及び耐震性の強化 計画 2 (2) 大規模タンクの耐震性強化 2 (3) 自主防災体制の確立	第3節 防災課、消防署 1 保安確保の指導 2 (1) 施設の保全及び耐震性の強化 2 (2) 大規模タンクの耐震性強化 2 (3) 自主防災体制の確立	
	第4節 高圧ガス製造施設 1 (1) 高圧ガス製造施設の対策 高圧ガス大量貯 の管理者 1 (2) 高圧ガス製造施設の緊急停止対策 蔵所防災計画 1 (3) 防災活動対策	第4節 防災課、消防署 1 (1) 高圧ガス製造施設の対策 高圧ガス大量貯 高圧ガス製造施設 1 (2) 高圧ガス製造施設の緊急停止対策 蔵所防災計画 の管理者 1 (3) 防災活動対策	
	第5節 毒物劇物取扱施 災課 <u>、</u> 設防災計画	第5節 防災課、 <u>消防署</u> 毒物劇物取扱施設の防災対策の強化 毒物劇物取扱施設 設防災計画 の管理者 毒物劇物取扱施設 の管理者	
83	第1節 火災予防対策に関する指導 1 市における措置	第1節 火災予防対策に関する指導 1 市における措置	1. 県の地域防災計画の修正の
	(略) (2) 防火対象物の防火体制の推進 消防署は、消防法に規定する防火対象物について防火管理者を必ず選任させ、その者に地震が事前予知された場合の対応も含めた震災対策事項を加えた消防計画を作成させ、(略)	(略) (2) 防火対象物の防火体制の推進 消防署は、消防法に規定する防火対象物について防火管理者を必ず選任させ、震災対策事項を加えた消防計画を作成させ、(略)	反映 (表記の整理)
88	第9章 津波等予防対策	第9章 津波等予防対策	
88	基本方針 地盤沈下や老朽化に対応した施設の嵩上げ、補強、補修などハード面での対策だけでなく、堤防・護岸施設外の区域などから住民、観光客、漁船等を避難させる必要があるほか、地震の外力や地盤の液状化により、堤防・護岸施設等に被害が生じたり、(略)	基本方針 ○ 地盤沈下や老朽化に対応した施設の嵩上げ、補強、補修などハード面での対策だけでなく、堤防・護岸施設外の区域などから住民、観光客、漁船等を避難させる必要があるほか、地震の外力や地盤の液状化により、堤防・護岸施設等に被害を受けたり、(略)	2. 碧南市各部 局における活動 の反映等 (表記の整理)

頁		現行	計画(令和4年2月修正)		改正後(令和 <u>5</u> 年 2 月修正)			改正理由
88	主な機関の措			主な機関の措置				2. 碧南市各部
	区分	機関名	主な措置		区 分	機関名	主な措置	局における活動
	第1節 津波対策に係 る地域の指定 等	(市) 本部班(防災 課 <u>)</u> 、 県	 津波危険地域の指定 津波防災地域づくりに関する法律に基づく津波浸水想定の設定 津波災害警戒区域の指定 南海トラフ法に基づく津波避難対策特別強化地域の指定 		第1節 津波対策に係 る地域の指定 等	防災課、県	1 津波危険地域の指定2 津波防災地域づくりに関する法律に基づく津波浸水想定の設定3 津波災害警戒区域の指定4 南海トラフ法に基づく津波避難対策特別強化地域の指定	の反映等 (表記の整理)
	第2節 津波防災体制 の充実	(市)本部班(防災課)、福祉班(福祉課)、要配慮者支援班(高齢介護課)、第1 医療班(健康課)、学校教育班(学校教育課)、こども班(こども課)、水班(農業水産課)、土木施設管理班(土木港湾課)、下水道班(下水道課)、藤井達吉現代美術館、消防署	1 想定される津波等に対する計画の策定 2 避難誘導計画など具体的な計画等の策定 3 不特定かつ多数の者が出入りする施設の管理者における措置 4 津波災害警戒区域の指定に係る事項		第2節 津波防災体制 の充実	防災課、福祉課、高 齢介護課、健康課、 学校教育課、こども 課、農業水産課、土 木港湾課、下水道 課、生涯学習課、文 化財課、スポーツ 課、水族館、消防署	1 想定される津波等に対する計画の策定 2 避難誘導計画など具体的な計画等の策定 3 不特定かつ多数の者が出入りする施設の管理者における措置 4 津波災害警戒区域の指定に係る事項	
	第3節 津波防災知識 の普及	(市) 本部班(防災 課)、社会教育班(生 涯学習課)、学校教育 班(学校教育課)	1 津波防災知識の普及 2 津波危険地域・津波災害警戒区域の周知や津波を 想定した情報伝達、避難訓練の実施等		第3節 津波防災知識 の普及	防災課、生涯学習 課、学校教育課	1 津波防災知識の普及 2 津波危険地域・津波災害警戒区域の周知や津波を 想定した情報伝達、避難訓練の実施等	
	第4節 津波等防災事業の推進	(市) 本部班(防災課)、農水班(農業水産課)、土木施設管理班(土木港湾課)、調達班(資産活用課)、土木施設管理班(都市整備課)、下水道班(下水道課)、消防署、避難促進施設の所有者又は管理者	1 津波に強いまちづくりの推進 2 非常用発電装置の整備、点検その他所要の被災防止措置 3 防潮堤、堤防、水門等の点検方針・計画の作成等 4 津波災害警戒区域の指定に伴う印刷物(ハザードマップ等)の作成、避難確保計画の作成及び訓練の実施		第4節 津波等防災事 業の推進	防災課、農業水産課、土木港湾課、都市整備課、下水道課、消防署、自主防災会	1 津波に強いまちづくりの推進 2 非常用発電装置の整備、点検その他所要の被災防止措置 3 防潮堤、堤防、水門等の点検方針・計画の作成等 4 津波災害警戒区域の指定に伴う印刷物(ハザードマップ等)の作成、避難確保計画の作成及び訓練の実施	
89 91		防災体制の充実 警戒区域の指定に係る	5事項	<u></u>	4 津波災害 (略) (3) 市長は	難確保計画の作成又は	る事項 画に定める津波災害警戒区域内の避難促進 は避難訓練の実施に関し必要な助言又は勧	1. 県の地域防 災計画の修正の 反映 (津波防災地域 づくりに関す る法律 第71
				15		<u>かできる。</u>		

頁	現行計画(令和4年2月修正)	改正後(令和 <u>5</u> 年2月修正)	改正理由
			条第3項に基づく修正)
94	第10章 広域応援・受援体制の整備	第10章 広域応援・受援体制の整備	
94	主な機関の措置	主な機関の措置	 2. 碧南市各部
	区 分 機関名 主 な 措 置	区 分 機関名 主 な 措 置	局における活動
	第1節 (市)本部班(防 1 資料の整備 広域応援・受援 災課)	第1節 (市)本部班(防 1 資料の整備 広域応援・受援 災課)	の反映等
	(市) 本部班(防 (京) 本部班(防 (京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京)	本制の整備 文族 大麻 全庁 消防署、警察署 2 応援協定の締結等 3 要請手続等の整備 4 受援体制の整備 2 受援体制の整備 2 応援協定の締結等 3 を持続等の整備 4 受援体制の整備 3 を持続等のを 4 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	(表記の整理)
	第2節 (市) 本部班(防 災課) 1 緊急消防援助隊 応援部隊等に係 る広域応援・受 援体制の整備 1 緊急消防援助隊 2 広域航空消防応援 3 広域消防相互応援協定 4 自衛隊	第2節 防災課 私書情報 1 緊急消防援助隊 応援部隊等に係 課 2 広域航空消防応援 る広域応援・受援体制の整備 消防署 3 広域消防相互応援協定 4 自衛隊	
	第3節 支援物資の円滑 な受援供給体制 の整備	第3節 防災課、資産活用 1(1) 災害時の円滑な物流に向けた体制の検討 フ援物資の円滑 課、 <u>行政課</u> 、商工 1(2) 訓練・検証等 の整備 課	
	第4節 防災活動拠点の確保等	第4節 防災活動拠点の 確保等 防災活動拠点の 確保等	
94	第1節 広域応援・受援体制の整備 4 受援体制の整備	第1節 広域応援・受援体制の整備 4 受援体制の整備	1. 県の地域防 災計画の修正の
95	4 文族体制の発掘 (略)	4 交援体制の発揮 (略)	及計画の修正の 反映
	また、市は、訓練等を通じて、応急対策職員 <u>確保</u> 制度を活用した応援職員	また、市は、訓練等を通じて、応急対策職員派遣制度を活用した応援職員	
	また、叩は、訓練寺を連して、心忌刈泉瀬貝 <u>傩保</u> 制度を活用した心接職貝	また、印は、训練寺を囲して、心忌刈東臧貝 <mark>小道</mark> 制度を活用した心接職貝	

頁	現行計画(令和4年2月修正)	改正後(令和 <u>5</u> 年2月修正)	改正理由
	の受け入れについて、活用方法の習熟、発災時における円滑な活用の促進に 努めるものとする。	の受け入れについて、活用方法の習熟、発災時における円滑な活用の促進に 努めるものとする。	(表記の整理)
97	第4節 防災活動拠点の確保等 (略) 市は、円滑に国等からの広域的な応援を受けることができるよう、自衛隊・警察・消防を始めとする応援部隊等の展開及び宿営の拠点、資機材・物資の集結・集積に必要となる拠点、緊急輸送ルート等の確保、整備及びこれらの拠点等に係る関係機関との情報の共有に努めるものとする。また、県は、広域かつ甚大な災害が発生した際に全国から人員や物資等の支援を受け入れ、被災地域の防災拠点に迅速かつ的確に供給する愛知県の基幹的広域防災拠点を空港と高速道路網の二つに直結する「名古屋空港北西部」(豊山町・青山地区)において整備する。なお、平常時は消防学校及び公園として活用する。(追加)	第4節 防災活動拠点の確保等 (略) 市は、円滑に国等からの広域的な応援を受けることができるよう、自衛隊・警察・消防を始めとする応援部隊等の展開及び宿営の拠点、資機材・物資の集結・集積に必要となる拠点、緊急輸送ルート等の確保、整備及びこれらの拠点等に係る関係機関との情報の共有に努めるものとする。また、県は、広域かつ甚大な災害が発生した際に全国から人員や物資等の支援を受け入れ、被災地域の防災拠点に迅速かつ的確に供給する「愛知県基幹的広域防災拠点」を空港と高速道路網の二つに直結する「名古屋空港北西部」(豊山町・青山地区)において整備する。なお、平常時は消防学校及び公園として活用する。当該拠点には、臨空消防学校(仮称)と愛知県防災公園を整備し、拠点の本部機能を確保するとともに、警察災害派遣隊、緊急消防援助隊、自衛隊、TEC-FORCEのベースキャンプ用地や、国からのプッシュ型支援物資の受け入れ、県内全域への供給に必要な物資ターミナルとする。	1. 県の地域防災計画の修正の反映 (愛知県基幹的広域防災拠点の整備計画の修正に伴う修正) (防災基本計画の修正を踏まえた修正)
98	第11章 防災訓練及び防災意識の向上	第11章 防災訓練及び防災意識の向上	
98	区 分 機関名 主 な 措 置 第1節 防災訓練の実施 (市) 本部班(防 災課)、避難所班 (国保年金課)、供 給班(商工課)、学 校教育班(学校教 育課)を始め全課 消防署、名古屋地方気象台 1 (1) 総合防災訓練 1 (2) 津波防災訓練 1 (3) 浸水対策訓練 1 (4) 動員訓練 1 (5) 広域応援訓練 1 (6) 防災訓練の指導協力 1 (7) 訓練の検証 1 (8) 図上訓練等 2 通信連絡訓練 3 (1) 計画の策定及び周知徹底 3 (2) 訓練の実施 3 (3) 訓練の反省 4 名古屋地方気象台における措置 第2節 防災のための意 識啓発・広報 (市) 本部班(防 災課)、住宅建築 班(建築課)、土木 施設管理班(土木 1 (1) 防災意識の啓発 1 (2) 防災に関する知識の普及 1 (3) 自動車運転者に対する広報 1 (4) 家庭内備蓄等の推進	主な機関の措置 区 分 機関名 主 な 措 置 第1節 防災訓練の実施 名古屋地方気象台 災害復日協議会 第1 (1) 総合防災訓練 1 (2) 津波防災訓練 1 (3) 浸水対策訓練 1 (4) 動員訓練 1 (5) 広域応援訓練 1 (6) 防災訓練の指導協力 1 (7) 訓練の検証 1 (8) 図上訓練等 2 通信連絡訓練 3 (1) 計画の策定及び周知徹底 3 (2) 訓練の実施 3 (3) 訓練の反省 4 名古屋地方気象台における措置 第2節 防災のための意 識啓発・広報 防災源、経営企画 説 (1) 防災意識の啓発 1 (2) 防災に関する知識の普及 1 (3) 自動車運転者に対する広報 1 (4) 家庭内備蓄等の推進	2. 碧南市各部局における活動の反映等(表記の整理)

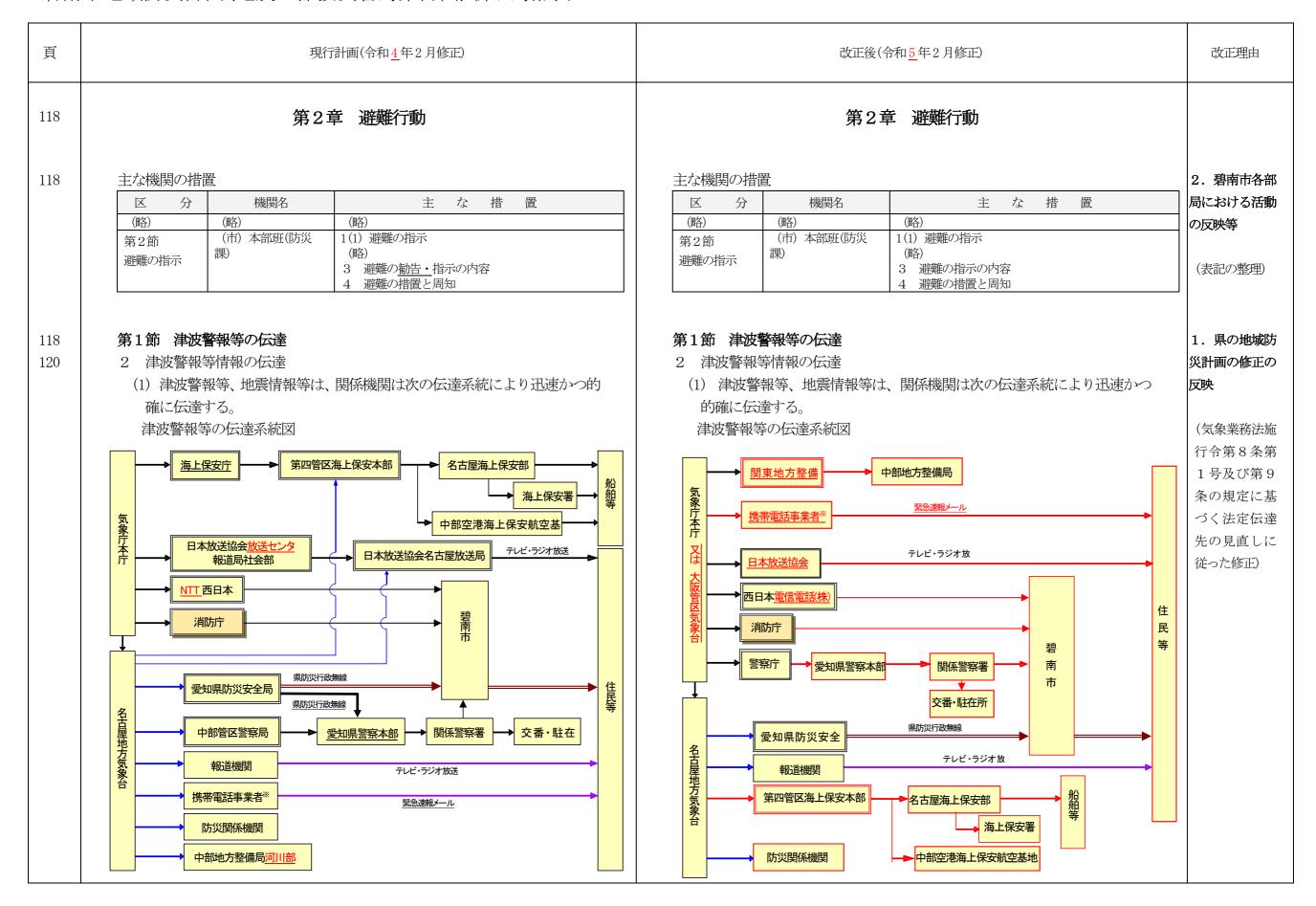
頁	現行計画(令和4年2月修正)	改正後(令和 <u>5</u> 年2月修正)	改正理由
98	(市) 本部班(防)	第3節 防災課、学校教育 防災のための教育 課、こども課 1(3) 関係職員の専門的知識のかん養及び技能の向上1(3) 1(4) 登下校(登降園)の安全確保2 市職員の防災教育 3 防災関係機関 3 防災関係機関 3	
99	第4節 (市) 本部班(防 (大) が災意識調査の実施 (大) が災意識調査を (大課)、住宅建築 (大) がで、 (共) (建築課)、 (大)	第4節 防災課、建築課、 1(1) 防災意識調査の実施 防災意識調査及 消防署 1(2) 耐震診断の実施 1(3) 地震に関する相談の実施 1(3) 地震に関する相談の実施	
99	第1節 防災訓練の実施 (略) 3 市及び <u>学校等</u> 管理者における措置	第1節 防災訓練の実施 (略) 3 市及び <u>国立・私立学校</u> 管理者における措置	1. 県の地域防 災計画の修正の 反映 (表記の整理)
101	第2節 防災のための意識啓発・広報 1 市及び警察における措置 (1) 防災意識の啓発	第2節 防災のための意識啓発・広報 1 市及び警察における措置 (1) 防災意識の啓発	1. 県の地域防 災計画の修正の 反映
102	(略)ク 緊急地震速報、津波警報等発表時や避難<u>勧告等</u>の発令時にとるべき 行動(略)	(略) ク 緊急地震速報、津波警報等発表時や避難 <mark>情報</mark> の発令時にとるべき行動 (略)	(表記の整理)
103	(6) 報道媒体の活用及び協力要請 (略) <u>電気</u> 通信事業者は、災害時における通信量の増加を抑制するため、災害 時の不要不急な通信は控えるよう周知に努める。 (7) 過去の災害教訓の伝承 市は、市民が過去の災害から得られた教訓を伝承するよう、その重要性 について啓発を行う。	(6) 報道媒体の活用及び協力要請 (略) 通信事業者は、災害時における通信量の増加を抑制するため、災害時 の不要不急な通信は控えるよう周知に努める。 (7) 過去の災害教訓の伝承 市は、市民が過去の災害から得られた教訓を伝承するよう、その重要 性について啓発を行う。	
	また、教訓を後世に伝えていくため、災害に関する調査結果や各種資料を広く収集・整理し、適切に保存するとともに、市民が閲覧できるよう公	また、教訓を後世に伝えていくため、災害に関する調査結果や各種資料を広く収集・整理し、適切に保存するとともに、市民が閲覧できるよう	(継続中の取組 について、防災

頁	現行計画(令和4年2月修正)	改正後(令和 <u>5</u> 年2月修正)	改正理由
103	開に努めるものとする。 <u>(追加)</u>	公開に努めるものとする。 さらに、国土地理院と連携して、災害に関する石碑やモニュメント等 の持つ意味を正しく後世に伝えていくよう努めるものとする。	基本計画の書 きぶりを踏ま えて追記)
103	 第3節 防災のための教育 1 市及び学校等管理者における措置 (略) (1) 児童生徒等に対する防災教育 (略) また、防災教育は、学級会活動、学校行事及び訓練等とも関連を持たせながら、効果的に行うよう配慮する。 	第3節 防災のための教育 1 市及び国立・私立学校等管理者における措置 (略) (1) 児童生徒等に対する防災教育 (略) また、防災教育は、学級会活動、学校行事及び訓練等とも関連を持たせながら、効果的に行うよう配慮するとともに、消防団員等が参画した体験的・実践的な教育の推進に努めるものとする。	1. 県の地域防 災計画の修正の 反映 (表記の整理) (防災基本計画 の修正を踏ま えた修正)
106	第12章 震災に関する調査研究の推進	第12章 震災に関する調査研究の推進	
106	主な機関の措置	主な機関の措置	2. 碧南市各部
	区 分 機関名 主 な 措 置	区 分 機関名 主 な 措 置	局における活動
	震災に関する調査(市) 本部班(防災課)、土木施設管理班(土木港湾課)1 (1) 基礎的調査 (本市の自然・社会的条件に関する調査) 調査)1 (2) 地震の発生、規模及び予知に関する調査 1 (3) 被害想定に関する調査研究 1 (4) 災害の防止、都市の防災化に関する調査 1 (5) 防災カルテ等の整備 1 (6) 地籍調査	震災に関する調査研究の推進 おりが、は、土木港湾 課 は 1 (1) 基礎的調査 (本市の自然・社会的条件に関する 調査) は 1 (2) 地震の発生、規模及び予知に関する調査 1 (3) 被害想定に関する調査研究 1 (4) 災害の防止、都市の防災化に関する調査 1 (5) 防災カルテ等の整備 1 (6) 地籍調査	の反映等 (表記の整理)
106	第1節 震災に関する調査研究の推進 (略)	第1節 震災に関する調査研究の推進 (略)	2. 碧南市各部 局における活動
107	(5) 防災カルテ等の整備 市は、防災アセスメントを実施することにより、その成果を活用して、 地域の災害危険性を総合的かつ科学的に把握し、コミュニティレベル(略)	(5) 防災カルテ等の整備 市は、防災アセスメントを実施することにより、その成果を活用して、 地域の災害危険性を総合的かつ科学的に把握し、コミュニティ <u>ー</u> レベル (略)	の反映等 (表記の整理)

頁	現行計画(令和4年2月修正)	改正後(令和 <u>5</u> 年2月修正)	改正理由
108	第3編 災害応急対策	第3編 災害応急対策	
108	第1章 活動態勢(組織の動員配備)	第1章 活動態勢(組織の動員配備)	
108	主な機関の措置	主な機関の措置	2. 碧南市各部
	区 分 機関名 主 な 措 置	区 分 機関名 主 な 措 置	局における活動
109	(略) (略) (略) (略) (略) 第3節 (災害教助法の適用 1 (2) 教助の実施 1 (3) 市町村への委任 1 (4) 救助の委任の留意点 1 (5) 日本赤十字社愛知県支部への委託 1 (6) 災害教助法が適用された場合の留意事項 (市) 本部班(防災課)、避難所班(国保年金課)、住宅建築班(建築課)、調達班(資産活用課)、供給班(商工課)、水道班(水道課)、第1医療班(健康課)、学校教育班(庶務課、学校教育課)、市民班(市民課、監查委員事務局、会計課)、土木施設管理班(土木港湾課) 本部班は総括	(略) (略) (略) 第3節	の反映等(表記の整理)
109	第1節 災害対策本部の設置・運営 1 市における措置 (1) 市災害対策本部の設置 (略) イ 災害対策本部 災害対策本部 災害対策本部 災害対策本部 の設置場所は以下のとおりとする。しかし、何らかの理 由により市役所に本部が設置できない場合は、碧南市文化会館内に本部 を設置する。	第1節 災害対策本部の設置・運営 1 市における措置 (1) 市災害対策本部の設置 (略) イ 災害対策本部 災害対策本部 災害対策本部 災害対策本部の設置場所は以下のとおりとする。しかし、何らかの 理由により市役所に本部が設置できない場合は、碧南市文化会館又は 東部市民プラザ内に本部を設置する。	2. 碧南市各部 局における活動 の反映等 (表記の整理)

碧南市地域防災計画(地震・津波災害対策計画)新旧対照表

頁	現行計画(令和4年2月修正)		改正後(令和 <u>5</u> 年 2 月修正)			改正理由	
110	(略) (5) 本部長 (市長)不在時における意思決定 (略) イ 副本部長が本部長の職務を代理できない場合には、碧南市行政組織 規則第22条の規定に準ずるものとする。 (6) 本部員会議 ア 本部員会議の協議事項 (略) (ウ) 避難の指示又は避難勧告に関すること。		(略) (5) 本部長 (市長)不在時における意思決定 (略) イ 副本部長が本部長の職務を代理できない場合には、防災監 (市民協働部長) を最優先にするほか、 碧南市行政組織規則第22条の規定に準ずるものとする。 (6) 本部員会議 ア 本部員会議の協議事項 (略) (ウ) 避難情報に関すること。			(表記の整理)	
115 116	第3節 災害救助法の適用 1 県における措置 (略) (3) 市町村への委任			第3節 災害救助法の適用 1 県における措置 (略) (3) 市町村への委任			2. 碧南市各部 局における活動 の反映等
	救助の種類(市担当部署)	実施者局地災害の場合	広域災害の場合	救助の種類 (市担当部署)	実施者局地災害の場合	広域災害の場合	(表記の整理)
	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	
	食品の給与 (供給班)	市(県が委任)	(41)	食品の給与(調達班)	市(県が委任)	(41)	
	飲料水の供給(水道班)	市(県が委任)		飲料水の供給(水道班)	市(県が委任)		
	被服、寝具の給与(供給班)	市(県が委任)		被服、寝具の給与(調達班)	市(県が委任)		
	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	1. 県の地域防
	学用品の給与	(1)		学用品の給与	V E/		災計画の修正の 反映
	市 <u>町村立小・中</u> 学校等児童生 徒分(学校教育班)	市(県が委任)		市立学校児童生徒分 (学校教育班)	市(県が委任)		(市町村立特別
	県立 <u>高等</u> 学校 <u>、特別支援学校</u> 等、私立学校等児童生徒分	県(県民文化局、教育委	員会)	県立学校、私立学校等児童生 徒分	県(県民文化局、教育委員	会)	支援学校分については、市
	埋葬(市民班)	市(県が委任)		埋葬 (遺体安置班)	市(県が委任)		町村が負担す
	死体の捜索及び処理 (市民班)	市(県が委任)		死体の捜索及び処理(<u>遺体安置</u> 班)	市(県が委任)		ることとなっ
	住居又はその周辺の土石等の障害物 の除去(土木施設管理班)	市(県が委任)		住居又はその周辺の土石等の障害物 の除去(土木施設管理班)	市(県が委任)		ているため。)



頁	現行計画(令和4年2月修正)	改正後(令和 <mark>5</mark> 年2月修正)	改正理由
120	※緊急速報メールは、大津波警報・津波警報が発表されたときに、気象台から携帯電話事業者を通じて関係するエリアに配信される。 注) 二重枠で囲まれている期間は、気象業務法施行令第8条第1号の規定に基づく法定伝達先。 注) 二重線の経路は、気象業務法第15条の2によって、特別警報の通知もしくは周知の措置が義務づけられている伝義経路。	※緊急速報メールは、大津波警報・津波警報が発表されたときに、気象台から携帯電話事業者を通じて関係するエリアに配信される。 注) 二重枠で囲まれている期間は、気象業務法施行令第8条第1号の規定に基づく法定伝達先。 注) 二重線の経路は、気象業務法第15条の2によって、特別警報の通知もしくは周知の措置が義務づけられている伝達経路。	
121	 第2節 避難の指示 1 市における措置 (略) (2) 知事等への助言の要求 市長は、避難のための立退きを指示しようとする場合において必要があると認めるときは、名古屋地方気象台、中部地方整備局又は知事に対し助言を求めることができる。 (略) 	 第2節 避難情報 1 市における措置 (略) (2) 知事等への助言の要求 市長は、避難のための立退きを指示しようとする場合において必要があると認めるときは、名古屋地方気象台、中部地方整備局又は知事に対し助言を求めることができる。さらに、避難指示等の発令に当たり、必要に応じて気象防災アドバイザー等の専門家の技術的な助言等を活用し、適切に判断するものとする。 (略) 	1. 県の地域防 災計画の修正の 反映 (表記の整理) (防災基本計画 の修正を踏ま えた修正)
122	 4 避難の措置と周知 (1) 住民への周知徹底 (略) イ 伝達手段は、防災行政無線(屋外拡声器、戸別受信機)、コミュニティFM、(略) 	4 避難の措置と周知 (1) 住民への周知徹底 (略) イ 伝達手段は、防災行政無線(屋外拡声器、戸別受信機)、コミュニティーFM、(略)	2. 滑雨川谷部 局における活動 の反映等 (表記の整理)
122	 第3節 住民等の避難誘導等 1 住民等の避難誘導等 (略) (3) 避難行動要支援者の安否確認、避難誘導の実施にあたっては、社会福祉施設を含め、民生委員児童委員や地域住民と連携して行うものとする。 (略) 2 避難行動要支援者の支援 (略) (1) 避難行動要支援者の安否確認・避難誘導地域住民、自主防災組織、民生委員児童委員等の避難支援者の協力を得つつ、避難行動要支援者へ情報伝達を行うとともに、安否確認・避難誘導 	 第3節 住民等の避難誘導等 1 住民等の避難誘導等 (略) (3) 避難行動要支援者の安否確認、避難誘導の実施にあたっては、社会福祉施設を含め、民生委員・児童委員や地域住民と連携して行うものとする。 (略) 2 避難行動要支援者の支援 (略) (1) 避難行動要支援者の安否確認・避難誘導地域住民、自主防災組織、民生委員・児童委員等の避難支援者の協力を 	1. 県の地域防 災計画の修正の 反映 (追記(防災基 本計画の表記 と統一))

頁	現行計画(令和4年2月修正)	改正後(令和 <u>5</u> 年2月修正)	改正理由
	を実施するものとする。	得つつ、避難行動要支援者へ情報伝達を行うとともに、安否確認・避難誘 導を実施するものとする。	
124	第3章 災害情報の収集・伝達・広報	第3章 災害情報の収集・伝達・広報	
124	主な機関の措置 区 分 機関名 主 な 措 置 第1節 (略) 1(1) 被害情報の収集 被害状況等の 収集・伝達 1(2) 災害の状況及び応急対策活動情報の県への報告 1(3) 行方不明者の情報収集 (略)	主な機関の措置 主な措置 第1節 被害状況等の収集・依達 1 (1) 被害情報の収集 1 (2) 災害の状況及び応急対策活動情報の県への報告 1 (3) 安否不明者・行方不明者の情報収集 (略) (略)	
125	 第1節 被害状况等の収集・伝達 1 市における措置 (略) (2) 災害の状况及び応急対策活動情報の県への報告 (略) この場合において、市長は、被害の発生地域、避難情報の措置を講じた 	 第1節 被害状況等の収集・伝達 1 市における措置 (略) (2) 災害の状況及び応急対策活動情報の県への報告 (略) 	 県の地域防災計画の修正の反映 (防災情報システムの改修更
125	地域等を地図上に表示することができる県防災情報システムの防災地理情報システムを有効に活用するものとする。 (3) 行方不明者の情報収集 捜索・救助体制の検討等に活用するため、市は、住民登録の有無にかかわらず、市の区域(海上を含む。)内で行方不明となった者について、県警察等関係機関の協力に基づき正確な情報の収集に努めるものとする。また、行方不明者として把握した者が、(略) (4) 火災、災害即報要領に基づく報告ア 市は、火災、災害即報要領(略)	報告にあたり、市長は県防災情報システムを有効に活用するものとする。 (3) <u>安否不明者・</u> 行方不明者の情報収集 捜索・救助体制の検討等に活用するため、市は、住民登録の有無にかかわらず、市の区域(海上を含む。) 内で <u>安否不明・</u> 行方不明となった者について、県警察等関係機関の協力に基づき正確な情報の収集に努めるものとする。また、 <u>安否不明者・</u> 行方不明者として把握した者が、(略)(4) 火災、災害即報要領に基づく報告ア市は、火災・災害即報要領(略)	新に伴う修正 (「災害時における安否不明者・行方不明者・死者の氏名の公表方針」の 反映)
127	3 市の災害情報・被害状況の報告の方法(1) 災害情報等の報告要領(略)イ 報告の内容	3 市の災害情報・被害状況の報告の方法 (2) 災害情報等の報告要領 (略) イ 報告の内容	2. 碧南市各部 局における活動 の反映等

頁	現行計画(令和4年2月修正)	改正後(令和 <u>5</u> 年 2 月修正)	改正理由
127	(ア)被害の概況(原因、地区名、時)及び地域の気象状況(イ)消防・水防機関等の出動状況(ウ)応援要請の状況(エ)避難命令、勧告及び指示の状況	 (7)被害の概況(原因、地区名、時)及び地域の気象状況 (4)消防・水防機関等の出動状況 (ウ)応援要請の状況 (エ) <u>避難情報</u>の状況 	(表記の整理)
128	第2節 通信手段の確保 1 市における措置 (略) (6) 孤立防止用無線電話等の使用	第2節 通信手段の確保 1 市における措置 (略) <u>(削除)</u>	1. 県の地域防 災計画の修正の 反映
	災害時においては、交通手段、通信手段の途絶により、特に郡部において孤立地区の発生が予想されるため西日本電信電話株式会社では、超小型衛星通信装置(ku-1ch)を一部の市役所や学校等に常置し、孤立防止を図っているので、東三河総局・県民事務所等(方面本部)、地方機関にあっては、防災行政無線電話、一般加入電話等の途絶に際しては、この無線電話を使用し、災害情報の報告等通信の確保に努めるものとする。		(設備廃止(ku -1ch)に伴う 修正)
	(7) 電話・電報施設の優先利用 (略) (8) 放送の依頼 (略) (9) 県防災情報システムの使用 (略)	 (6) 電話・電報施設の優先利用 (略) (7) 放送の依頼 (略) (8) 県防災情報システムの使用 (略) 	
131	第3節 広報	第3節 広報・広聴	2. 碧南市各部 局における活動 の反映等 (表記の整理)
133	第4章 応援協力・派遣要請	第4章 応援協力・派遣要請	

Ī				現行	十画(令和4年	2月修正)			改正後(令和 <u>5</u> 年2月修正)					改正理由			
3	主な	機関の指	置						主	な機関の指	置						2. 碧南市各
	区	分	機	関名		主な	措置			区分	1	機関名		主な	措	置	局における活
	(略		(略)		(略)					(略)	(略)		(略)				の反映等
4	震の	節 計ラフ地 発生時に る広域受	(土木港湾 医療班(健 報・調整班 課)、供給 課)、調達 課、資産活	施設管理班 課)、第 1 康課)、情 E(秘書情報 班(商工 班(行政	1(1) 緊急輸 1(2) 救助・ 1(3) 災害医 1(4) 物資調 1(5) 燃料供	救急、消火沿療活動 達				育7節 有海トラフ地 寝の発生時に おける広域受 爰	課)、土 (土木港) 医療班((報・調整 課)、調	部班(防災 木施設管理班 湾課)、第1 健康課)、情 を班(秘書情報 達班(行政 管活用課)	1 (1) 緊急輔 1 (2) 救助・ 1 (3) 災害医 1 (4) 物資調 1 (5) 燃料化	救急、消火 医療活動 調達			(表記の整理)
	()	各)	消防署 所隊の災害派 遣された自衛		i囲				1	(略)	所隊の災害 遣された自	派遣 衛隊の活動衛	1				1. 県の地域 災計画の修正 反映
		項目			内	容				項目			内	容			
	(略)	-)	(昭	5)						(略)		(略)					(防災基本計
	炊飯	及び給水	被	災者に対し、 <u>炊</u>	飯及び給水を実	施する。			<u> </u>	合食及び給水		被災者に対し、終	合食及び給水を	実施する。			の修正を踏
	(追	加)							2	人浴支援	初	皮災者に対し、 入浴	学支援を実施する	<u>る。</u>			えた修正)
	(略)	-)	(昭2	()						(略)		(略)					
	2	防災活動	泛活動拠点 が拠点の確保 が災活動拠点		件等				第 2		拠点の確		至件等				1. 県の地域 災計画の修団 反映
2		区分	1地区防災	2 地域防災	3 広域防災	4	5	6		区分	1地区防災		3 広域防災	4	5	6	Ī
		面積	活動拠点	活動拠点(略)	活動拠点(略)	(略)	(略)	(暗各)		面積	活動拠点(略)	活動拠点	活動拠点(略)	(略)	(略)	(略)	(表記の整理
	要件	施設設備	できれば 倉庫等	できれば 倉庫、宿泊施設等	倉庫等	倉庫等 宿泊施設	倉庫等滑走路	(чи)	要 件		できれば 倉庫等	できれば 倉庫、宿泊施設等	倉庫等	倉庫等 宿泊施設	倉庫等滑走路	(44)	
j				第5章 扌	数出・救助	対策						第5章 勃	数出・救助	助対策			
;	基本		その上空から	の情報収集	活動、救急	 救助活動、	災害応急活	動等を迅		本方針) 発災直後	後の上空か	らの情報収集	享活動、 救急	急救助活動	、災害応	急活動等を	1. 県の地域 災計画の修正

頁	現行計画(令和4年2月修正)	改正後(令和 <u>5</u> 年2月修正)	改正理由			
145	速かつ円滑に行うために、 <u>愛知県防災航空隊に依頼して、</u> 防災ヘリコプター を活用する。					
	主な機関の応急活動	主な機関の応急活動	(ヘリコプター			
	機関名 発災 3日 1週間 復旧対応期	機関名 発災 3日 1週間 復旧対応期	の運航を名古			
	(略)	(略)	屋市に事務委			
	□ 自衛隊等への応援要求 □ 他市町村への応援指示 □ 防災ヘリコプターの出動 □ 航空機の運用調整	○自衛隊等への応援要求 ○他市町村への応援指示 ○防災へリコプターの出動 <mark>調整</mark> ○航空機の運用調整	託したため。)			
147	第2節 海上における避難救出活動 1 第四管区海上保安本部における措置 (略) (4) 船舶交通の安全確保対策	第2節 海上における避難救出活動 1 第四管区海上保安本部における措置 (略) (4) 船舶交通の安全確保対策	1. 県の地域防 災計画の修正の 反映			
	(略) イ 津波により在港船が遭難する恐れがある場合又は船舶交通の安全を確保する必要がある場合には、在港船舶に対する避難勧告、港の出入口付近等における交通整理等必要な措置を講ずる。	(略) イ 津波により在港船が遭難する恐れがある場合又は船舶交通の安全を確保する必要がある場合には、在港船舶に対する避難勧告 <u>(港則法)</u> 、港の出入口付近等における交通整理等必要な措置を講ずる。	(表記の整理)			
148	第3節 航空機の活用	 第3節 航空機の活用	1. 県の地域防			
	1 市における措置 (防災ヘリコプターの応援要請)	1 市における措置(防災ヘリコプターの応援要請)	災計画の修正の			
	市は、防災ヘリコプターの応援要請をするときは、あらかじめ <u>県(防災安</u> 全局消防保安課防災航空グループ)に電話等により次の事項について速報を	市は、防災ヘリコプターの応援要請をするときは、あらかじめ <u>名古屋市</u> 消防航空隊に電話等により次の事項について速報を行ってから緊急出動要	反映			
	一 行ってから緊急出動要請書を <u>知事に</u> 提出する <u>ものとする</u> 。	ー	(ヘリコプター			
	(略)	(略)	の運航を名古			
	(7) その他必要な事項	(7) その他必要な事項	屋市に事務委			
	※緊急出動要請先 愛知県防災安全局消防保安課防災航空グループ	★緊急出動要請先 <u>名古屋市消防航空隊</u>	託したため。)			
149	TEL 0 5 6 8 - 2 9 - 3 1 2 1					
	FAX 0 5 6 8 - 2 9 - 3 1 2 3	区 分 通 報 先	2. 碧南市各部			
	◆資料編(資料12−18)愛知県防災ヘリコプター支援協定	8時45分から 名古屋市消防航空隊	局における活動			
		電話: 0568-54-1190 FAX: 0568-28-0721	の反映等			
		友士長市時災 総合センター				
		17 時 30 分から 8 時 45 分まで 電 話: 052-961-0119 FAX: 052-953-0119	(表記の整理)			

頁	現行計画(令和4年2月修正)	改正後(令和 <u>5</u> 年2月修正)	改正理由
		◆資料編 <u>(資料12−18)愛知県における航空機を用いた市町村等の消</u> 防支援協定	
150	第6章 消防活動・危険性物質対策	第6章 消防活動・危険性物質対策	
151	 第1節 消防活動 1 消防署の措置 (略) (2) 大震火災防御計画の樹立 (略) イ 大震火災防御計画の推進 (略) 	 第1節 消防活動 1 消防署の措置 (略) (2) 大震火災防御計画の樹立 (略) イ 大震火災防御計画の推進 (略) 	2. 碧南市各部 局における活動 の反映等 (表記の整理)
152	(カ) 部隊運用要領 a 消防の組織 (略) (b) 消防団本部の設置 消防団長は、消防署長の <u>指揮の下</u> 、(略)	(カ) 部隊運用要領 a 消防の組織 (略) (b) 消防団本部の設置 消防団長は、消防署長の <u>所轄の下</u> 、(略)	
153	(3) 広域的な消防部隊の応援要請 広域的な消防部隊の応援要請を行う必要が生じた場合、市は、「愛知県 内広域消防相互応援協定」及び(略)	(3) 広域的な消防部隊の応援要請 広域的な消防部隊の応援要請を行う必要が生じた場合、市は、 <u>衣浦東</u> <u>部広域連合を通じ、</u> 「愛知県内広域消防相互応援協定」及び(略)	2. 碧南市各部 局における活動 の反映等 (表記の整理)
153	2 消防団における措置 (1) 延焼火災その他災害の防御 消防団は地域に密着した防災機関として、(略) エ 避難方向の指示 避難の指示・勧告がなされた場合は、これを住民に伝達するとともに、 関係機関と連絡をとりながら火勢の状況等正しい情報に基づき、住民に 安全な方向を指示する。	2 消防団における措置 (1) 延焼火災その他災害の防御 消防団は地域に密着した防災機関として、(略) エ 避難方向の指示	1. 県の地域防 災計画の修正の 反映 (表記の整理)

頁	現行計画(令和4年2月修正)	改正後(令和 <u>5</u> 年2月修正)	改正理由
157	第7章 医療救護・防疫・保健衛生対策	第7章 医療救護・防疫・保健衛生対策	
158	第1節 医療救護1 市、碧南市医師会、碧南歯科医師会、碧南市薬剤師会、消防署における措置(略)	第1節 医療救護1 市、碧南市医師会、碧南歯科医師会、碧南市薬剤師会、消防署における措置(略)	2. 碧南市各部 局における活動 の反映等
159	(3) 救急搬送の実施 (略) イ 道路や交通機関の不通時等又は遠隔地へ搬送する場合については、 <u>県</u> 防災へリコプター、自衛隊へリコプター等の派遣要請を <u>県に依頼する</u> 。 (追加) ウ 第四管区海上保安本部は、(略)	(3) 救急搬送の実施 (略) イ 道路や交通機関の不通時等又は遠隔地及び広域搬送拠点臨時医療施設(SCU)へ搬送する場合については、名古屋市消防航空隊、自衛隊へリコプター等の派遣要請を行う。 ウ 重症患者の緊急空輸については、ドクターへリ等を活用する。 エ 第四管区海上保安本部は、(略)	(表記の整理)
160	(略) (4) 医薬品その他衛生材料の確保(市) (略) イ 陸上の交通手段が確保できない場合は、防災へリコプターの出動を県に要請するとともに、県警察、自衛隊等にヘリコプター等の出動を要請して、医薬品等の空輸を行う。 (略) (5) 血液製剤の確保(市) (略) ウ 通常の輸送体制がとれない場合は、防災へリコプターを出動を県に要請するとともに、県警察、自衛隊等にヘリコプター等の出動を要請して、血液製剤の空輸を行う。(略) 2 災害拠点病院における措置 (略) ◆資料編(資料9-2)災害拠点病院及びDMAT指定医療機関(西三河南部地域)	 (略) (4) 医薬品その他衛生材料の確保(市) (略) イ 陸上の交通手段が確保できない場合は、防災ヘリコプターの出動を名古屋市消防航空隊に要請するとともに、県警察、自衛隊等にヘリコプター等の出動を要請して、医薬品等の空輸を行う。 (略) (5) 血液製剤の確保(市) (略) ウ 通常の輸送体制がとれない場合は、防災ヘリコプターを出動を名古屋市消防航空隊に要請するとともに、県警察、自衛隊等にヘリコプター等の出動を要請して、血液製剤の空輸を行う。(略) 2 災害拠点病院における措置(略) ◆資料編(資料9-2)災害拠点病院及びDMAT指定医療機関(西三河南部西医療圏) 	1. 県の地域防 災計画の修正の 反映 (ヘリコプター の運航を名 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大
161	第2節 防疫・保健衛生 (略)	第2節 防疫・保健衛生 (略)	1. 県の地域防 災計画の修正の

頁	現行計画(令和4年2月修正)	改正後(令和 <u>5</u> 年2月修正)	改正理由
162	1 市における措置 (略) (4) 栄養指導等 ア 市及び県は、避難所等における炊き出しの実施に際し、栄養指導を行 うとともに、避難所等における被災者の食生活支援・相談を行う。	1 市における措置 (略) (4) 栄養指導等 ア 市及び県は、避難所等における炊き出しの実施に際し、栄養指導を 行うとともに、避難所等における被災者の食生活支援・相談を行う。 また、避難所等における食物アレルギーを有する者のニーズの把握や アセスメントの実施、食物アレルギーに配慮した食料の確保等に努め るものとする。	反映 (防災基本計画 の修正を踏ま えた修正)
165	第8章 交通の確保・緊急輸送対策	第8章 交通の確保・緊急輸送対策	
167	第1節 道路交通規制等 (略)	第1節 道路交通規制等 (略)	2. 碧南市各部 局における活動
169 171	3 規制の標識等 (1) 規制標識 ア 道路法第45条 (道路標識等の設置等)によるもの イ 道路交通法第4条 (道路標識等の設置等)によるもの (略) 7 相互協力 (1) 車両の通行を禁止し、又は制限する場合には、できるだけ道路管理者等 及び関係機関が相互に緊密な連賂を保ち、適切な交通規制を行うようにす	3 規制の標識等 (1) 規制標識 ア 道路法第45条 (道路標識等の設置)によるもの イ 道路交通法第4条 (公安委員会の交通規制)によるもの (略) 7 相互協力 (1) 車両の通行を禁止し、又は制限する場合には、できるだけ道路管理者等 及び関係機関が相互に緊密な連絡を行い、適切な交通規制を行うようにす	の反映等(表記の整理)
	スの特別域別が15年代は <u>年期で下り</u> 、週9年又地が同で行うようにする。	る。	
171	第2節 道路施設対策1 市における措置(略)(2) 道路、橋梁等の緊急復旧、緊急輸送道路等の機能確保(略)	第2節 道路施設対策1 市における措置(略)(2) 道路、橋梁等の緊急復旧、緊急輸送道路等の機能確保(略)	1. 県の地域防 災計画の修正の 反映 (表記の整理)
172	ウ 放置車両や立ち往生車両等が発生した場合で、緊急通行車両の通行 を確保するため緊急の必要があるときは、道路管理者として区間を指 定し、運転者等に対し車両の移動等の命令を行う <u>ものとする</u> 。運転手 がいない場合等においては、自ら車両の移動等を行う <u>ものとする</u> 。	ウ 放置車両や立ち往生車両等が発生した場合で、緊急通行車両の通行 を確保するため緊急の必要があるときは、道路管理者として区間を指 定して、運転者等に対し車両の移動等の命令を行う。運転手がいない 場合等においては、自ら車両の移動等を行う。	

頁	現行計画(令和4年2月修正)	改正後(令和 <u>5</u> 年2月修正)	改正理由
172 173	(略) 2 中部地方整備局における措置 (略) (2) 道路、橋梁等の緊急復旧、緊急輸送道路等の機能確保 (略) オ 放置車両や立ち往生車両等が発生した場合で、緊急通行車両の通行を 確保するため緊急の必要があるときは、道路管理者として区間を指定 し、運転者等に対し車両の移動等の命令を行うものとする。運転手がいない場合等においては、自ら車両の移動等を行う。 (略) 3 県における措置 (略) (2) 道路、橋梁等の緊急復旧、緊急輸送道路等の機能確保 (略) オ 放置車両や立ち往生車両等が発生した場合で、緊急通行車両の通行を確保するため緊急の必要があるときは、道路管理者として、運転者等に対し車両の移動等の命令を行うものとする。運転手がいない場合等においては、自ら車両の移動等を行う。	(略) 2 中部地方整備局における措置 (略) (2) 道路、橋梁等の緊急復旧、緊急輸送道路等の機能確保 (略) オ 放置車両や立ち往生車両等が発生した場合で、緊急通行車両の通行 を確保するため緊急の必要があるときは、道路管理者として区間を指 定して、運転者等に対し車両の移動等の命令を行う。運転手がいない場 合等においては、自ら車両の移動等を行う。 (略) 3 県における措置 (略) (2) 道路、橋梁等の緊急復旧、緊急輸送道路等の機能確保 (略) オ 放置車両や立ち往生車両等が発生した場合で、緊急通行車両の通行 を確保するため緊急の必要があるときは、道路管理者として、運転者 等に対し車両の移動等の命令を行う。運転手がいない場合等において は、自ら車両の移動等を行う。	1. 県の地域防災計画の修正の反映 (表記の整理)
177	第5節 緊急輸送手段の確保 1 市における措置 (略) (5) 自衛隊への輸送要請 市において車両等による輸送の確保が困難なときは、県又は自衛隊に 対しヘリコプター又は舟艇による輸送を要請するものとする。	第5節 緊急輸送手段の確保 1 市における措置 (略) (5) 自衛隊等への輸送要請 市において車両等による輸送の確保が困難なときは、 <u>名古屋市消防航</u> 空隊又は自衛隊に対しヘリコプター又は舟艇による輸送を要請するものとする。	2. 碧南市各部局における活動の反映等(表記の整理) 1. 県の地域防災計画の修正の反映(ヘリコプターの運航を名古と市に事務委託したため。)

#国 機関名 主 な 措 置 (市) 本部班(防災 課)、農水班(農業水産課)、土木施設管理 班(土木港湾課)、下水道班(下水道課)、消防署 1 (1) 河川・海岸の点検及び応急復旧 1 (2) 浸水対策資機材の確保 1 (3) 可搬式ポンプによる応急排水 2 市民における措置 2 市民における措置 2 サイン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	第9章 浸水・津波対策 主な機関の措置 区分機関名 主な措置 第1節 (市)本部班(防災課)、農水班(農業水産課)、土木施設管理班(土木港湾課)、下水道班(下水道課)、下水道班(下水道課)、消防署災害復旧協議会 1 (1) 河川・海岸の点検及び応急復旧1(2) 浸水対策資機材の確保1(3) 可搬式ポンプによる応急排水20円における措置	2. 碧南市各部局における活動の反映等(表記の整理)
機関名 主 な 措 置 (市) 本部班(防災 課)、農水班(農業水 産課)、土木施設管理 班(土木港湾課)、下 水道班(下水道課)、 消防署 1 (1) 河川・海岸の点検及び応急復旧 1 (2) 浸水対策資機材の確保 1 (3) 可搬式ポンプによる応急排水 2 市民における措置	区 分 機関名 主 な 措 置 第1節 浸水対策 (市) 本部班(防災 課)、農水班(農業水 産課)、土木施設管理 班(土木港湾課)、下 水道班(下水道課)、 消防署 1 (1) 河川・海岸の点検及び応急復旧 1 (2) 浸水対策資機材の確保 1 (3) 可搬式ポンプによる応急排水 2 市民における措置	局における活動 の反映等
支対策		
情報の発令、海岸線の監視、巡回等 は、災害対策本部が設置された場合、あらかじめ指定した津波危険 津波災害警戒区域及び堤防・護岸施設外の区域などを中心に海岸 混、巡回を行い、 <u>海水浴客、</u> 釣人、サーファー等への避難指示、	 第2節 津波対策 1 市における措置 (略) (2) 避難情報の発令、海岸線の監視、巡回等 (略) ウ 市は、災害対策本部が設置された場合、あらかじめ指定した津波危険 地域・津波災害警戒区域及び堤防・護岸施設外の区域などを中心に海岸線の監視、巡回を行い、釣人等への避難指示、(略) 	2. 碧南市各部 局における活動 の反映等 (表記の整理)
しの章 避難所・要配慮者支援・帰宅困難者対策	第10章 避難所・要配慮者支援・帰宅困難者対策	
離所の開設・運営 する措置 所の運営 配慮者へ支援 所内に要配慮者がいることを認めた場合は、民生委員児童委員、	第1節 避難所の開設・運営 1 市における措置 (略) (4) 避難所の運営 キ 要配慮者へ支援 避難所内に要配慮者がいることを認めた場合は、民生委員・児童委員、	1. 県の地域防 災計画の修正の 反映 (児童委員の追 記(防災基本計
洋河 し 難け 所配	#波災害警戒区域及び堤防・護岸施設外の区域などを中心に海岸 現、巡回を行い、 <u>海水浴客、</u> 釣人、サーファー等への避難指示、 0章 避難所・要配慮者支援・帰宅困難者対策 所の開設・運営 る措置 の運営 嘘者へ支援	(略) ウ 市は、災害対策本部が設置された場合、あらかじめ指定した津波危険 津波災害警戒区域及び堤防・護岸施設外の区域などを中心に海岸 現、巡回を行い、海水浴客、釣人、サーファー等への避難指示、 の監視、巡回を行い、約人等への避難指示、(略) 第10章 避難所・要配慮者支援・帰宅困難者対策 第10章 避難所・要配慮者支援・帰宅困難者対策 第1節 避難所の開設・運営 2 市における措置 (略) (4) 避難所の運営 2 実配慮者へ支援

頁	現行計画(令和4年2月修正)	改正後(令和 <u>5</u> 年2月修正)	改正理由
189	第3節 帰宅困難者対策 1 市における措置 <u>(追加)</u>	第3節 帰宅困難者対策 1 市における措置 (1) 市域に所在する事業所から一斉に帰宅した場合、避難に大きな障害となることが予想されるため、事業者に対し、社員及び事業所来訪者又は	2. 碧南市各部 局における活動 の反映等
	 (1) 「むやみに移動 (帰宅)を開始しない」(略) (略) (2) 災害情報、徒歩帰宅支援ステーションの情報提供 (略) (3) その他帰宅困難者への広報 (略) (4) 帰宅途中で救援が必要となった人等の対策 (略) 	利用者の安全確保のため、滞在場所の確保等の対策を依頼する。 (2) 「むやみに移動 (帰宅)を開始しない」(略) (略) (3) 災害情報、徒歩帰宅支援ステーションの情報提供 (略) (4) その他帰宅困難者への広報 (略) (5) 帰宅途中で救援が必要となった人等の対策 (略)	(表記の整理)
191	第11章 水・食品・生活必需品等の供給	第11章 水・食品・生活必需品等の供給	
191	主な機関の措置 区 分 機関名 主 な 措 置 第1節 (市) 水道班(水道 除) 給水 課)	主な機関の措置 区 分 機関名 主 な 措 置 第1節 (市) 水道班(水道 (略) 線)	2. 碧南市各部 局における活動 の反映等
	第2節 食品の供給 (市) 供給班(商工 課) 社会福祉協議会 (略) 第3節 生活必需物資 の供給 (略)	第2節 食品の供給 (市) <u>調達班(資産</u> 活用課、行政課) 社会福祉協議会 日本赤十字社 (市) <u>調達班(資産</u> 生活必需物資 の供給 (略)	(表記の整理)
194	第2節 食品の供給1 市における措置(略)(4) 米穀の原料調達(略)	第2節 食品の供給 1 市における措置 (略) (4) 米穀の原料調達 (略)	1. 県の地域防 災計画の修正の 反映 (国の組織再編

頁	現行計画(令和4年2月修正)	改正後(令和 <u>5</u> 年2月修正)	改正理由
195	ウ 市長は、緊急に必要とする場合は電話等により知事に依頼することができるほか、通信途絶などの場合には、農林水産省(<u>政策統括官</u>)に要請を行うことができる。(略)	ウ 市長は、緊急に必要とする場合は電話等により知事に依頼することができるほか、通信途絶などの場合には、農林水産省(<mark>農政局長</mark>)に要請を行うことができる。(略)	に伴う修正)
200	第13章 遺体の取扱い	第13章 遺体の取扱い	
200	主な機関の応急活動	主な機関の応急活動	2. 碧南市各部
	機関名 発災 3日 1週間 復旧対応期	機関名 発災 3日 1週間 復旧対応期	局における活動
	○他市町村への応援指示 ○県警と連携し、県医師会に検案を依頼	Ott I will be the life to be a second of the	の反映等
	○遺体の捜索・収容 ○遺体の処理及び一時保存 ・ 遺体の処理及び一時保存 ・ 遺体の埋火葬 ・ (追加) ・ (追加) ・ (他市町村又は県への応援要請	○遺体の捜索・収容 ○遺体の処理及び一時保存 ○遺体の処理及び一時保存 ○遺体の埋火葬 ○碧南警察署と連携し、市医師会及び市歯科医師会への応援要請 ○他市町村又は県への応援要請	(表記の整理)
	県警、第四管 ○検視 (調査)の実施 □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	県警、第四管 ○検視 (調査)の実施 : ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	
	主な機関の措置	主な機関の措置	
	区 分 機 関名 主 な 措 置 第1節 遺体の捜索・ 収容 (市) (追加) 市民 班(市民課) 1 (1) 対象者 1 (2) 遺体の捜索 1 (3) 検視 (調査) 1 (4) 応援要求 2 災害救助法の適用	区 分 機 関名 主 な 措 置 第1節 遺体の捜索・ 収容 (市) 本部班(防災 課)、遺体安置班(市 民課、監査委員事務 局、会計課、スポー ツ課) 1 (1) 対象者 1 (2) 遺体の捜索 1 (3) 検視 (調査) 1 (4) 応援要求 2 災害救助法の適用	
	第2節 (市) (追加) 市民 遺体の処理 (市民課、監査委員 事務局、会計課)、第 1 医療班(健康課)、第 1 (3) 遺体の検視 (調査)及び検案 1 (3) 遺体の洗浄等 1 (4) 遺体の身元確認及び引き渡し 第2 医療班(市民病 院)	第2節 (市) 本部班(防災 課)、遺体安置班(市 民課、監査委員事務 局、会計課、スポー ツ課)、第1医療班 (健康課)、第2医療 班(市民病院) 県警察、第四管区海上保安本 1 (1) 遺体の収容及び一時保存 1 (2) 遺体の検視 (調査)及び検案 1 (3) 遺体の洗浄等 1 (4) 遺体の身元確認及び引き渡し 1 (5) 応援要求 2 県警察及び第四管区海上保安本部における措置 3 災害救助法の適用	
	第3節 (市) 市民班(市民 遺体の埋火葬 1 (1) 死亡届書の受理、火葬(埋葬)許可証の交付 課、監査委員事務 局、会計課)、福祉班 (福祉課)、福祉班 (福祉課)、 衣浦衛生組合 1 (2) 遺体の搬送 1 (3) 埋火葬 1 (4) 棺、骨つぼ等の支給 1 (5) 埋火葬相談窓口の設置 1 (6) 応援要求	部 (市) 遺体安置班(市 1 (1) 死亡届書の受理、火葬(埋葬)許可証の交付 遺体の埋火葬 民課、監査委員事務 1 (2) 遺体の搬送 局、会計課、スポー 1 (3) 埋火葬 ツ課)、福祉班(福祉 1 (4) 棺、骨つぼ等の支給 課)、 1 (5) 埋火葬相談窓口の設置 衣浦衛生組合 1 (6) 応援要求	

頁	現行計画(令和4年2月修正)	改正後(令和 <u>5</u> 年2月修正)	改正理由
	2 災害救助法の適用	2 災害救助法の適用	
200	 第1節 遺体の捜索・収容 (略) 2 災害救助法の適用 (略) なお、救助の対象、方法、経費及び期間については、災害救助法施行細則による。災害救助法が適用されない場合においては、実情に応じ同法に定める基準に準じて対応する。 ◆資料編(資料12-4)災害救助法適用基準及び災害救助法施行細則 	 第1節 遺体の捜索・収容 (略) 2 災害救助法の適用 (略) なお、救助の対象、方法、経費及び期間については、災害救助法、同法施行令及び同法施行細則による。災害救助法が適用されない場合においては、実情に応じ同法に定める基準に準じて対応する。 ◆資料編(資料12-4)災害救助法適用基準等 	2. 碧南市各部局における活動の反映等(表記の整理)
202	第2節 遺体の処理 1 市における措置 (略) (2) 遺体の検視 (調査)及び検案 警察官又は海上保安官の遺体の検視 (調査)を得るとともに、医師による遺体 (医師の診療中に死亡した者を除く)の検案 (死亡の確認及び死因その他の医学的検査)を受ける。 (追加)	第2節 遺体の処理 1 市における措置 (略) (2) 遺体の検視 (調査)及び検案 警察官又は海上保安官の遺体の検視 (調査)を得るとともに、医師による遺体 (医師の診療中に死亡した者を除く)の検案 (死亡の確認及び死因その他の医学的検査)を受ける。 なお、検案の実施については、市と碧南警察署が連携し、碧南市医師会及び碧南歯科医師会に依頼する。加えて県が県警察と連携し、県医師会及び県歯科医師会に依頼する。	
	 (略) 2 県警察及び第四管区海上保安本部における措置 (略) (2) 身元識別のため必要があるときは、血液の採取、爪の切除等を実施する。また、必要に応じて県歯科医師会に応援を要請する。 3 災害救助法の適用 (略) なお、救助の対象、方法、経費及び期間については、災害救助法施行細則による。災害救助法が適用されない場合においては、実情に応じ同法に定める基準に準じて対応する。 ◆資料編(資料12-4)災害救助法適用基準及び災害救助法施行細則 	(略) 2 県警察及び第四管区海上保安本部における措置 (略) (2) 身元識別のため必要があるときは、血液の採取、爪の切除等を実施する。また、必要に応じて県医師会及び県歯科医師会に応援を要請する。 3 災害救助法の適用 (略) なお、救助の対象、方法、経費及び期間については、災害救助法、同法施行令及び同法施行細則による。災害救助法が適用されない場合においては、実情に応じ同法に定める基準に準じて対応する。 ◆資料編(資料12-4)災害救助法適用基準等	

頁	現行計画(令和4年2月修正)	改正後(令和 <u>5</u> 年2月修正)	改正理由
203	第3節 遺体の埋火葬 1 市及び衣浦衛生組合における措置 (略) (2) 遺体の搬送	第3節 遺体の埋火葬 1 市及び衣浦衛生組合における措置 (略) (2) 遺体の搬送	2. 碧南市各部 局における活動 の反映等
	遺体安置所又は火葬場までの遺体の搬送を行う。 (3) 埋火葬 火葬 (埋葬)許可証を確認し、遺体を埋火葬する。 (4) 棺、骨つぼ等の支給 棺、骨つぼ等を調達し、現物で遺族に支給する。	自己の資力で埋火葬が困難な遺族等又は遺族等が引き取りを拒否した 場合に遺体安置所又は火葬場までの遺体の搬送を行う。 (3) 埋火葬 火葬 (埋葬)許可証を確認し、遺体を埋火葬する。 (4) 棺、骨つぼ等の支給 棺、骨つぼ等を調達し、自己の資力で埋火葬が困難な遺族等又は遺族等 が引き取りを拒否した場合に現物支給する。	(表記の整理)
	 (略) 2 災害救助法の適用 (略) なお、救助の対象、方法、経費及び期間については、災害救助法施行細則による。災害救助法が適用されない場合においては、実情に応じ同法に定める基準に準じて対応する。 ◆資料編(資料12-4)災害救助法適用基準及び災害救助法施行細則 	 (略) 2 災害救助法の適用 (略) なお、救助の対象、方法、経費及び期間については、災害救助法、同法施 行令及び同法施行細則による。災害救助法が適用されない場合においては、 実情に応じ同法に定める基準に準じて対応する。 ◆資料編(資料12-4)災害救助法適用基準等 	
204	第14章 ライフライン施設等の応急対策	第14章 ライフライン施設等の応急対策	
204	主な機関の応急活動 機関名 発災 3日 1週間 復旧対応期 (略) (略) 中部電力株式会社 (略) (略) (略) (略)	主な機関の応急活動 機関名 発災 3日 1週間 復旧対応期 (略) (略) 中部電力パワーグ (略) リット株式会社 株式会社 J E R A (略) (略)	2. 碧南市各部 局における活動 の反映等 (表記の整理)
205	主な機関の措置 区分機関名 主な措置 第1節 (市)本部班(防災課)、 情報・調整班(秘書情報課) (略) 電力施設対策 情報・調整班(秘書情報課) 中部電力株式会社	主な機関の措置 区分機関名 主な措置 第1節電力施設対策 (市)本部班(防災課)、(略)情報・調整班(秘書情報課)	2. 碧南市各部 局における活動 の反映等 (表記の整理)

頁		現行計画(令和	口 <u>4</u> 年2月修正)		改正後(令和 <u>5</u> 年	2月修正)	改正理由
205	(略)	株式会社JERA (略)	(略)		中部電力 <u>パワーグリッド</u> 株式会社		
	第6節 通信施設の応急措	電気通信事業者、移動通信	(略)	(服各)	株式会社JERA (略)	(略)	災計画の修正の
	置	(略)	(略)	第6節 通信施設の応急措 置	通信事業者、移動通信事業者	(((田各)	
		(略)	(略)	<u> </u>	(略)	(略)	(表記の整理)
205	(略) (2) 情報の収集	会社、株式会社 J E R A と伝達 集伝達系統)	における措置	(略) (2)情報の収集	<u>ーグリッド</u> 株式会社、校 と伝達 集伝達系統)	株式会社JERAにおける措置 岡崎給電制御所	2. 碧南市各部 局における活動 の反映等 (表記の整理)
	電力センター本部 <u>刈谷</u> 電力センター (略)	営業所 本 部 翌南サービ、スステーション 刈谷営業所	変電所・電力所等	電力センター本部 <u>岡崎</u> 電力センター (略)	営業所 本 部 刈谷営業所	変電所	
207		配備(中部電力株式会社)			配備(中部電力 <u>パワーグ</u>	リッド株式会社)	
212	ケーションズ株 (略) (3) 応急復旧活動	者 (西日本電信電話株式 式会社)における措置	会社、エヌ・ティ・ティ・コミュニ	ションズ株式会 (略) (3) 応急復旧活動	西日本電信電話株式会社 社)における措置	た、エヌ・ティ・ティ・コミュニケー	1. 県の地域防 災計画の修正の 反映 (表記の整理) 2. 碧南市各部 局における活動

頁	現行計画(令和4年2月修正)	改正後(令和 <u>5</u> 年2月修正)	改正理由
212	(イ) 交換機が被災した場合 非常用可搬型デ <u>ィ</u> ジタル交換機等を使用し、応急復旧を図る。 (略)	(イ) 交換機が被災した場合 非常用可搬型デジタル交換機等を使用し、応急復旧を図る。 (略)	の反映等 (表記の整理)
213	2 移動通信事業者(株式会社NTTドコモ、KDDI株式会社及びソフトバンク株式会社)における措置	2 移動通信事業者 (株式会社NTTドコモ、KDDI株式会社、ソフトバンク株式会社及び楽天モバイル株式会社)における措置	1. 県の地域防 災計画の修正の 反映 (指定公共機関 の追加に伴う 修正)
216	第15章 住宅対策	第15章 住宅対策	
219	第4節 応急仮設住宅の設置及び管理運営 1 市における措置	第4節 応急仮設住宅の設置及び管理運営 1 市における措置	2. 碧南市各部 局における活動
220	(略) (5)被災者の入居及び管理運営	(略) (5)被災者の入居及び管理運営	の反映等
	(略)	(略)	(表記の整理)
	ウででは、	ウ 管理運営及び処分	
	(略) (イ) 応急仮設住宅は、被災者に対しての一時的居住の場所を与えるため	(略) (イ) 応急仮設住宅は、被災者に対しての一時的居住の場所を与えるた	
	の仮設建設であることを考慮し、使用目的に反しないよう適切に管理	めの仮設建設であることを考慮し、使用目的に反しないよう適切に管	
	する。その際、応急仮設住宅における安心・安全の確保、孤独死やひ	理する。その際、応急仮設住宅における安心・安全の確保、孤独死や	
	きこもりなどを防止するための心のケア、入居者によるコミュニティ	ひきこもりなどを防止するための心のケア、入居者によるコミュニテ	
	の形成及び運営に努めると共に、(略) (略)	イ <u>ー</u> の形成及び運営に努めると共に、(略) (略)	
221	第5節 住宅の応急修理	第5節 住宅の応急修理	
	1 市における措置	1 市における措置	
	(1) 応急修理の実施	(1) 応急修理の実施	
	(略) エ 修理の期間	(略) エ 修理の期間	
	地震災害が発生してから3か月以内(災害対策基本法に規定する災害	地震災害が発生してから3か月以内(災害対策基本法に規定する災	
	対策本部が設置された場合は、6か月以内)に完了するものとする。(略)	害対策本部が設置された場合は、6か月以内)に完了するものとする。 (略)	

頁	現行計画(令和4年2月修正)	改正後(令和 <u>5</u> 年2月修正)	改正理由
224	第16章 学校における対策	第16章 学校における対策	
224	主な機関の応急活動	主な機関の応急活動	1. 県の地域防
	機関名 発災 3日 1週間 復旧対応期 ○気象警報等の把握・伝達 .	機関名 発災 3日 1週間 復旧対応期 ○気象警報等の把握・伝達	災計画の修正の
	□ ○ 臨時休業等の措置 ○ 教育施設の確保 ○ 選難の実施 ○ 教職員の確保 ○ 広報 【 周知活動の実施 ○ (追加) □ ○ 応援の要求・指示	○臨時休業等の措置 ○教育施設の確保 ○避難の実施 ○教職員の確保 ○広報・周知活動の実施 ○ 教科書等の給与(県立学校) ○応援の要求・指示	反映 (表記の整理)
	○気象警報等の把握・伝達 ○臨時休業等の措置 ○教育施設の確保 ○避難の実施 ○教職員の確保 ○広報 周知活動の実施 ○学用品の支給 ○応援の要求	○気象警報等の把握・伝達 ○臨時休業等の措置 ○教育施設の確保 ○避難の実施 ○教職員の確保 ○広報・周知活動の実施 ○ 教科書等の給与(市立学校) ○応援の要求	
	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	□ ○気象警報等の把握・伝達 □ □ ○ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	
225	第1節 津波警報等の伝達、臨時休業及び避難等の措置1 県(教育委員会)、市及び国立・私立学校設置者(管理者)における措置(1) 津波警報等の把握・伝達(略)	第1節 津波警報等の伝達、臨時休業及び避難等の措置 1 県 (教育委員会)、市及び国立・私立学校設置者 (管理者)における措置 (1) 津波警報等の把握・伝達 (略)	1. 県の地域防 災計画の修正の 反映
	ア 県立学校 <u>等</u> (略) イ 市立学校 <u>等</u> (略) ウ 国立私立学校 <u>等</u>	ア 県立学校 (略) イ 市立学校 (略) ウ 国立・私立学校	(表記の整理)
226 227	 第4節 教科書・学用品等の給与 1 市における措置 (1) 児童・生徒に対する教科書・学用品等の給与 市は、災害により教科書・学用品等を喪失又はき損し、就学上支障を来 	第4節 教科書・学用品等の給与 1 市における措置 (1) 児童・生徒に対する教科書・学用品等の給与 市は、災害により教科書・学用品等を喪失又はき損し、就学上支障を来し	1. 県の地域防 災計画の修正の 反映

頁	現行計画(令和4年2月修正)	改正後(令和 <u>5</u> 年2月修正)	改正理由
	した <u>小・中</u> 学校 <u>等</u> の児童 <u>及び</u> 生徒に対して、(略)	た学校の児童 <u>・</u> 生徒に対して、(略)	(表記の整理)
228	第4編 災害復旧・復興	第4編 災害復旧・復興	
235	第3章 災害廃棄物処理対策	第3章 災害廃棄物処理対策	
235 237	第1節 災害廃棄物処理対策 災害時の支援体制 図中:一般社団法人愛知県産業 <u>廃棄物</u> 協会	第1節 災害廃棄物処理対策 災害時の支援体制 図中:一般社団法人愛知県産業 <u>資源循環</u> 協会	1. 県の地域防災 計画の修正の反映 (表記の整理)
241	第5章 被災者等の生活再建等の支援	第5章 被災者等の生活再建等の支援	
241	基本方針	基本方針	2. 碧南市各部 局における活動 の反映等 (表記の整理)
	(略) (略) (略) (略) (略) (市) 福祉班(福祉 課)、市民班(会計 課)、(共給班(商工 選)、巡視・調査班 (税務課)、避難所班 (国保年金課)、要配 慮者支援班(高齢介護 課)、こども班(こど も課)、学校教育班 (学校教育課)、水道 班(水道課)、下水道 班(下水道課)、	(略) (略) (略) (略) 第2節 (市)福祉班(福祉 課)、市民班(会計 課)、市民班(会計 課)、調達班 (資産活 用課、行政課)、巡視・調査班(税務 課)、避難所班(国保 年金課)、要配慮者支援班(高齢介護課)、こども班(こども 課)、学校教育班(学校教育課)、水道班	

頁	現行	計画(令和 <u>4</u> 年2月修正)		改正後(令和 <u>5</u> 年2月修正)	改正理由
241	住宅建築班(建築課) 日本赤十字社 愛知県支部 被災者生活再建支援 法人(公益財団法人都 道府県センター) 報道機関等 県社会福祉協議会			(水道課)、下水道班 (下水道課)、 住宅建築班(建築課) 日本赤十字社 愛知県支部 被災者生活再建支援 法人(公益財団法人都 道府県センター) 報道機関等 県社会福祉協議会		
251	第5編 南海トラフ	地震臨時情報発表時の対応	第5編	南海トラフ	地震臨時情報発表時の対応	
252	2. 南海トラフ地震臨時情報(巨大 (略) 4 避難対策等 (1) 地域住民等の避難行動等 市は、(略) 事前避難対象地 難対象地域) について検討・設 当該地域について、避難 <u>勧告</u> 等	(略) 4 避難対策 (1) 地域住民 市は、(略 難対象地域	等 等の避難行動等 ら)事前避難対象地)について検討・設	大地震警戒)が発表された場合の対応 域(住民事前避難対象地域、高齢者等事前避 定し、国からの指示が発せられた場合には、 等により事前の避難を促す。	1. 県の地域防災計画の修正の反映 (表記の整理)	
256 257	「南海トラフ地震臨時情報」に する条件 発表時間 キーワード	地震注意) が発表された場合の対応 付記するキーワードと各キーワードを付記 各キーワードを付記する条件	「南海トラフ する条件 発表時間	7地震臨時情報」に	大地震注意) が発表された場合の対応 上付記するキーワードと各キーワードを付記 各キーワードを付記する条件	1. 県の地域防 災計画の修正の 反映
	地震発生等から 5~30分 地震発生等から 最短で2時間 (略)	(昭各)	地震発生等から 5~30 分 <u>後</u> 地震発生等から 最短で2時間 <u>後</u>	((照各)	(表記の整理)
1	別紙「東海地震	[に関する事前対策]	为	川紙「東海地震	鬘に関する事前対策 」	

頁	現行計画(令和4年2月修正)				改正後(令和 <u>5</u> 年2月修正)		
11	第3	3章 発災に備えた	た資機材、人員等の配備手配	第3	章 発災に備えた	た資機材、人員等の配備手配	
11	主な機関の措 区 分 第1節 主要食糧、医薬 品の確保	機関名 (市) 供給班(商工 課)、第1医療班(健康 課)、市民病院	主 な 措 置 1(1) 主要食糧の確保 1(2) 医薬品の確保	主な機関の措 区 分 第1節 主要食糧、医薬 品の確保	機関名 (市) 調達班(資産活	1(2) 医薬品の確保	2. 碧南市各部 局における活動 の反映等 (表記の整理)
	第2節 災害応急対策 等に必要な資 機材及び人員 の配備	日本赤十字社愛知県 支部 (愛知県赤十字血 液センター) (略) 中部電力株式会社 株式会社 J E R A (略) 電気通信事業者、 移動通信事業者	2 愛知県赤十字血液センターにおける措置 (略) (略) (略) (略)	第2節 災害応急対策 等に必要な資 機材及び人員 の配備	日本赤十字社愛知県 支部 (愛知県赤十字血 液センター) (略) 中部電力パワーグリ ッド株式会社 株式会社 J E R A (略) 通信事業者、 移動通信事業者		1. 県の地域防 災計画の修正の 反映 (表記の整理)
12	(略)4 中部電力を中部電力を言が発表されて、次の措施(略)	株式会社、株式会社, 株式会社、株式会社]	資機材及び人員の配備 JERAにおける措置 JERAは、東海地震注意情報、又は警戒宣 対体制を発令し、非常災害対策本部を設置し	(略)4 中部電力 中部電力 情報、又は 対策本部を (略)	<u>パワーグリッド</u> 株式: パワーグリッド株式:		1. 県の地域防災計画の修正の反映 (表記の整理)
16		第4章 発》	災に備えた直前対策		第4章 発	災に備えた直前対策	
16	主な機関の措施区分	世 機 関 名	主な措置	主な機関の措区分	機関名	主な措置	2. 碧南市各部 局における活動 の反映等

頁	現行計画(令和4年2月修正)			改正後(令和 <u>5</u> 年 2 月修正)			改正理由
16	第1節 避難対策	(市)本部班(防災課)、広報班(経営企画課)、遊難所班(国保年金課)、福祉班(福祉課)、要配慮者支援班(高齢介護課)、第1医療班(健康課) (略) 第四管区海上保安本部	1 (4) 屋外における避難生活の運営 1 (5) 徒歩による避難の誘導 1 (6) 要配慮者に対する支援・配慮 1 (7) 出張者、旅行者等の対応 (略) (略) 3 (3) 津波による危険が予想される港及び沿岸付近に ある船舶に対する避難勧告 (略)	第1節 避難対策	(市)本部班(防災課)、広報班(経営企画課)、遊難所班(国保年金課)、福祉班(福祉課)、要配慮者支援班(高齢介護課)、第1医療班(健康課) (略) 第四管区海上保安本部	1 (4) 屋外における避難生活の運営 1 (5) 徒歩による避難の誘導 1 (6) 要配慮者に対する支援・配慮 1 (7) 出張者、旅行者等の対応 (略) (略) 3 (3) 津波による危険が予想される港及び沿岸付近にある船舶に対する避難勧告 (略)	(表記の整理)
	to to	(略)	(略)		(略)	(略)	
	第2節 消防、浸水等 対策	(市)本部班(防災 課)、農水班(農業水産 課)、土木施設管理班 (土木港湾課)、下水道 班(下水道課)、 消防署	(略) 1(4) 要配慮者の避難誘導に対する民生委員児童委員、自主防災会等への活動要請 (略)	第2節 消防、浸水等 対策	(市)本部班(防災課)、農水班(農業水産課)、土木施設管理班(土木港湾課)、下水道班(下水道課)、消防署	(略) 1(4) 要配慮者の避難誘導に対する民生委員 <u>・</u> 児童委員、自主防災会等への活動要請 (略)	
	(略)	(略)	(晔)	(略)	(略)	(略)	
17	第7節海上交通	(市)本部班(防災課)、土木施設管理班(土木港湾課)、 第四管区海上保安本部	1(1) 津波による危険が予想される海域に係る港・沿岸付近の船舶に対する避難指示及び必要に応じた入港制限等 (略)	第7節 海上交通	(市)本部班(防災課)、土木施設管理班(土木港湾課)、 第四管区海上保安本部	1(1) 津波による危険が予想される海域に係る港・沿岸付近の船舶に対する避難 <u>制告</u> 及び必要に応じた入港制限等 <u>(港則法)</u> (略)	
	第8節	(略)	()()()()()()()()()()()()()()()()()()()	第8節	(略)	(略)	
	飲料水、電気、	中部電力株式会社	(~II)	飲料水、電気、	中部電力パワーグリ	(AI)	
	ガス、通信及	株式会社JERA		ガス、通信及			
	び放送関係	(略)	(晔)	び放送関係	株式会社JERA		
	第9節	(市) 供給班(商工課)	1(1) 生活必需品の売り惜しみ、買占め等の防止に係	tota o tota	(略)	(略)	
	生活必需 品の確保		る要請 1(2)生活必需品を扱う小売店舗の営業に係る要請 1(3)各家庭に対する周知	第9節 生活必需 品の確保	(市) <u>調達班(資産活</u> 用課、行政課)	1(1) 生活必需品の売り惜しみ、買占め等の防止に係る要請 1(2) 生活必需品を扱う小売店舗の営業に係る要請	
	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	1 (3) 各家庭に対する周知 (略)	
10	第1節 避難	-144		第1節 避難	I	(单位)	2. 碧南市各部
18	第1即 姓無 1 市における			第1即 遊無 1 市における			2. 岩角巾谷部 局における活動
		の指直 象地区の周知			の指直 象地区の周知		同における店勤 の反映等
			いる) た 敬武宗			いう。) を警戒宣言発令時の(略)	vハXi X寸
			いう。)を <u>、</u> 警戒宣言発令時の(略)			v・ノ。)を青双旦吉釆で吋V八崎)	(主章]①事行用)
	(2) 避難の		亡却古際)アトブ時野の知生 松二族の国行	(2) 避難の		古田市松 テトフ 時帯 中田 中田 中田 中田 中田 中田 中田	(表記の整理)
	ア 防災	仃 以 無 禄 (同 報 糸) 、	広報車等による避難 <u>の勧告、指示等</u> の周知	ア防災	仃蚁無緑(同報糸)、	広報車等による避難 <u>情報</u> の周知	

頁	現行計画(令和4年2月修正)	改正後(令和 <u>5</u> 年 2 月修正)	改正理由
19	イ 県警戒本部への避難状況等の報告及び報道機関に対する放送依頼 ウ 避難対象地区の自主防災組織、施設及び事業所への集団避難の指示 エ 県警察への避難 <u>勧告、</u> 指示等を行った旨の通知及び避難誘導、交通規 制等の依頼 (略) (6) 要配慮者に対する支援・配慮 イ 警戒宣言に基づき、市長より避難の <u>勧告又は</u> 指示が行われたときは、 (略)	イ 県警戒本部への避難状況等の報告及び報道機関に対する放送依頼 ウ 避難対象地区の自主防災組織、施設及び事業所への集団避難の指示 エ 県警察への避難指示等を行った旨の通知及び避難誘導、交通規制等 の依頼 (略) (6) 要配慮者に対する支援・配慮 イ 警戒宣言に基づき、市長より避難の指示が行われたときは、(略)	
20	3 第四管区海上保安本部における措置 (略) (3) 津波による危険が予想される港及び沿岸付近にある船舶に対する避難 勧告 第四管区海上保安本部は、警戒宣言が発せられた場合、津波による危険 が予想される海域に係る港及び沿岸付近にある船舶に対し、港外、沖合等 安全な海域への避難勧告を行う。	3 第四管区海上保安本部における措置 (略) (3) 津波による危険が予想される港及び沿岸付近にある船舶に対する避難 勧告 <u>(港則法)</u> 第四管区海上保安本部は、警戒宣言が発せられた場合、津波による危 険が予想される海域に係る港及び沿岸付近にある船舶に対し、港外、沖合 等安全な海域への避難勧告 <u>(港則法)</u> を行う。	1. 県の地域防災計画の修正の反映 (表記の整理)
21	 第2節 消防、浸水等対策 1 市及び消防署における措置 (略) (4) 要配慮者の避難誘導に対する民生委員児童委員、自主防災会等への活動要請 	第2節 消防、浸水等対策 1 市及び消防署における措置 (略) (4) 要配慮者の避難誘導に対する民生委員・児童委員、自主防災会等への活動要請	1. 県の地域防 災計画の修正の 反映 (表記の整理)
26	第7節 海上交通 1 第四管区海上保安本部における措置 第四管区海上保安本部は、警戒宣言が発せられた場合、海上交通の安全を確保するために、次の措置をとるものとする。 (1) 津波による危険が予想される海域に係る港・沿岸付近の船舶に対する 避難勧告及び必要に応じた入港制限等 津波による危険が予想される海域に係る港及び沿岸付近にある船舶 に対し、港外、沖合等安全な海域への避難勧告を行うとともに、必要 に応じ入港を制限し、又は港内に停泊中の船舶に対して移動を命じ若	第7節 海上交通 1 第四管区海上保安本部における措置 第四管区海上保安本部は、警戒宣言が発せられた場合、海上交通の安全 を確保するために、次の措置をとるものとする。 (1) 津波による危険が予想される海域に係る港・沿岸付近の船舶に対する 避難勧告 (港則法) 及び必要に応じた入港制限等 津波による危険が予想される海域に係る港及び沿岸付近にある船舶に対 し、港外、沖合等安全な海域への避難勧告 (港則法) を行うとともに、必要に 応じ入港を制限し、又は港内に停泊中の船舶に対して移動を命じ若しくは荷	1. 県の地域防災計画の修正の反映 (表記の整理)

碧南市地域防災計画(地震・津波災害対策計画)新旧対照表

頁	現行計画(令和4年2月修正)	改正後(令和 <u>5</u> 年2月修正)	改正理由
	しくは荷役の中止を命ずる等、所要の措置をとる。	役の中止を命ずる等、所要の措置をとる。	
26 27 28 29	第8節 飲料水、電気、ガス、通信及び放送関係 (略) 2 中部電力株式会社、株式会社JERAにおける措置 中部電力株式会社、株式会社JERAは、地震災害予防及び災害復旧にとって必要不可欠な条件となっている電力を円滑に供給するため、警戒宣言が発せられた場合等の地震防災応急対策として次の措置を講ずる。 (略) 5 通信事業者における措置 (略) (1) 地震防災応急対策等に関する広報 (略) エ 西日本電信電話株式会社の名古屋支店における業務実施状況	第8節 飲料水、電気、ガス、通信及び放送関係 (略) 2 中部電力パワーグリッド株式会社、株式会社JERAにおける措置 中部電力パワーグリッド株式会社、株式会社JERAは、地震災害予防 及び災害復旧にとって必要不可欠な条件となっている電力を円滑に供給するため、警戒宣言が発せられた場合等の地震防災応急対策として次の措置を講ずる。 (略) 5 通信事業者における措置 (略) (1) 地震防災応急対策等に関する広報 (略) エ 西日本電信電話株式会社の東海支店における業務実施状況	1. 県の地域防 災計画の修正の 反映 (表記の整理)